

各担当の問合せ先（住所/Tel/Fax/E-mail）は
27ページに掲載しています。

会 告

Vol.42 No.11

会告目次	1
IPSJカレンダー	2
平成13年度山下記念研究賞の表彰	4
選挙制度の改善について	12
論文賞候補の論文推薦のお願い	13
研究発表会開催通知	13
第14回電子化知的財産・社会基盤研究会	13
第35回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	13
第62回コンピュータと教育研究会	14
第39回音声言語情報処理研究会	14
第15回コンピュータセキュリティ研究会	15
第43回音楽情報科学研究会	15
研究会論文募集	15
「産業フォーラム/ITS（第6回）」参加者募集	17
「人文科学とコンピュータシンポジウム じんもんこん2001」参加者募集	17
「第43回プログラミング・シンポジウム」参加者募集	18
「2002年情報学シンポジウム」参加者募集	19
第64回全国大会追加特別トラック講演募集のご案内	20
IWEC2002 Call For Papers	21
Intelligent Information Processing IIP-2002	22
情報処理学会論文誌「次世代移動通信ネットワークとその応用」特集号への論文投稿のご案内	23
情報処理学会論文誌「インタラクション技術の革新と実用化」特集号への論文投稿のご案内	23
支部だより	24
会員の皆様へのお知らせ・お願い（会員担当）	24
学会発売書籍リスト	25
会議案内（協賛・後援）	26
掲載論文一覧	26
有料会告について	28
「第43回プログラミング・シンポジウム」参加申込書	29
情報処理学会「書籍」申込書	30
人材募集	31
会告の電子化に向けて、ご理解とご協力をお願い	12
寄贈図書一覧	24



社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp>

本誌共定価 1680円（本体1600円）

IPJSカレンダー

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
第105回マルチメディア通信と分散処理研究会	金沢大	11月15日(木) ~16日(金)	当日のみ		42-10 会6p	研
第96回ヒューマンインタフェース研究会	長崎大	11月15日(木) ~16日(金)	当日のみ		42-10 会7p	研
第19回モバイルコンピューティングとワイヤレス通信研究会	長崎大	11月15日(木) ~16日(金)	当日のみ		42-10 会7p	研
第7回高度交通システム研究会	情報処理学会	11月16日(金)	当日のみ		42-10 会7p	研
北陸支部研究講演会「量子コンピュータの現状と動向」	福井大	11月16日(金)			42-10 会23p	陸
第37回数値モデル化と問題解決研究会	生命情報科学研究センター	11月19日(月)	当日のみ		42-10 会7p	研
コンピュータシステム・シンポジウム	東京国際展示場	11月19日(月) ~20日(火)	11月12日(月)	8月24日(金)	42-10 会14p	研
第1回高品質インターネット研究会	万国国津梁館	11月20日(火) ~21日(水)	当日のみ		42-10 会8p	研
第146回自然言語処理研究会	立命館大	11月20日(火) ~21日(水)	当日のみ		42-10 会8p	研
第102回システムLSI設計技術研究会	東京国際展示場	11月20日(火) ~21日(水)	当日のみ		42-10 会9p	研
第135回ソフトウェア工学研究会	長崎大	11月21日(水) ~22日(木)	当日のみ		42-10 会9p	研
第81回アルゴリズム研究会	新潟大	11月27日(火)	当日のみ		42-10 会9p	研
連続セミナー2001 第4回「サービスプラットフォーム技術」	工学院大	11月27日(火)	定員になり次第		42-10 会15p	事
20th International Conference on Conceptual Modeling (ER2001)	横浜	11月27日(火) ~30日(金)		4月20日(金)	42-1 会11p	国
第137回計算機アーキテクチャ研究会	北九州国際会議場	11月28日(水) ~29日(木)	当日のみ		42-10 会10p	研
第103回システムLSI設計技術研究会	北九州国際会議場	11月28日(水) ~30日(金)	当日のみ		42-10 会10p	研
産業フォーラム/ITS (第6回)	情報処理学会	11月29日(木)	定員になり次第		42-11 会17p	研
東海支部「平成13年度電気関係学会東海支部連合大会」	豊橋技科大	11月29日(木) ~30日(金)		8月24日(金) 消印有効	42-9 会14p	海
第24回分散システム/インターネット運用技術研究会	鹿児島大	11月30日(金)	当日のみ		42-10 会11p	研
第31回デジタル・ドキュメント研究会	情報処理学会	11月30日(金)	当日のみ		42-10 会11p	研
第14回電子化知的財産・社会基盤研究会	NTT武蔵野研究開発センター	11月30日(金)	当日のみ		42-11 会13p	研
データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム(DBWeb2001)	京都市大学のまち交流センター	12月5日(水) ~7日(金)	11月23日(金)		42-10 会16p	事
中国支部講習会「地場産業を活性化するためのCRM最前線」	中国電力	12月7日(金)	定員になり次第		42-10 会23p	中
第35回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	北大/名大	12月13日(木) ~14日(金)	当日のみ		42-11 会13p	研
第62回コンピュータと教育研究会	東京外語大	12月14日(金)	当日のみ		42-11 会14p	研
北陸支部研究講演会「メディア情報処理とソフトプロセッシング」	金沢大	12月14日(金)			42-11 会24p	陸
東海支部「講演会」	名大	12月14日(金)			42-11 会24p	海
人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん2001)	大阪市立大	12月14日(金) ~15日(土)	11月30日(金)	9月14日(金)	42-11 会17p	研
第39回音声言語情報処理研究会	東工大	12月20日(木) ~21日(金)	当日のみ		42-11 会14p	研
第15回コンピュータセキュリティ研究会	情報処理学会	12月21日(金)	当日のみ		42-11 会15p	研
第43回音楽情報科学研究会	慶大	12月22日(土) ~23日(日)	当日のみ		42-11 会15p	研
第43回プログラミング・シンポジウム	箱根ホテル小涌園	平成14年 1月9日(水) ~11日(金)	11月22日(木)	8月24日(金)	42-11 会18p	事
情報システムと社会環境シンポジウム	学習院大	1月15日(火)		9月14日(金) 必着	42-8 会17p	研
2002年情報学シンポジウム	日本学術会議講堂	1月17日(木) ~18日(金)	1月4日(金)	9月14日(金) 必着	42-11 会19p	研
ウィンターワークショップ・イン・伊豆	三菱電機五景館(静岡)	1月17日(木) ~18日(金)		11月16日(金) 必着	42-9 会12p	研
連続セミナー2001 第5回「E-マーケットプレイス」	工学院大	1月18日(金)	定員になり次第		42-10 会15p	事
2002年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム(HPCS 2002)	つくば国際会議場	1月22日(火) ~23日(水)		9月14日(金)	42-8 会17p	研
The 2002 Symposium on Applications and the Internet (SAINT-2002)	奈良	1月28日(月) ~2月1日(金)		3月15日(木)	41-8 会20p	事

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
International Workshop on Web Services Engineering 2002 (WebSE 2002)	奈良県ニューパブリックホール	1月31日(木) ~2月1日(金)		9月25日(火)	42-8 会20p	事
分散システム/インターネット 運用技術シンポジウム2002	NTT武蔵野研究 開発センタ	1月31日(木) ~2月1日(金)		10月19日(金) 必着	42-9 会12p	研
連続セミナー2001 第6回 「家庭情報化サービス」	工学院大	2月25日(月)	定員になり次第		42-10 会15p	事
インタラクシオン2002	早稲田国際会議場	3月6日(水) ~7日(木)		11月9日(金) (一般)	42-8 会21p	事
情報処理学会第64回全国大会	東京電機大	3月12日(火) ~14日(木)		11月22日(木)	42-11 会20p	事
First International Workshop on Entertainment Computing (IWEC2002)	幕張	5月14日(火) ~17日(金)		12月15日(土)	42-11 会21p	事
Intelligent Information Processing (IIP-2002)	カナダ モントリオール	8月25日(日) ~30日(金)		1月28日(月)	42-11 会22p	事
論文誌投稿締切		発行予定月		論文/応募締切	掲載頁	担当
論文誌特集号「音声言語情報処理とその応用」		平成14年7月		11月15日(木)	42-8 会18p	論
論文誌特集号「電子社会に向けたコンピュータセキュリティ技術」		平成14年8月		11月30日(金)	42-6 会28p	論
論文誌特集号「システムソフトウェアの新しい潮流」		平成14年6月		12月14日(金)	42-10 会22p	論
論文誌特集号「ゲームプログラミング」		平成14年10月		平成14年 2月20日(水)	42-10 会22p	論
論文誌特集号「次世代移动通信ネットワークとその応用」		平成14年12月		2月28日(木)	42-11 会23p	論
論文誌特集号「グループウェアと ネットワークサービス」		平成14年11月		3月15日(金)	42-10 会22p	論
論文誌特集号「インタラクシオン技術の革新と実用化」		平成14年12月		4月12日(金)	42-11 会23p	論
その他				応募締切	掲載頁	担当
情報処理学会フェロー候補者推薦募集				11月9日(金) 必着	42-10 会4p	総
平成14年度代表会員候補者の募集				11月15日(木) 必着	42-10 会4p	総
「優秀教育賞」および「優秀教材賞」推薦				12月14日(金)	42-10 会5p	研
論文賞候補の論文推薦				平成14年 1月11日(金)	42-11 会13p	論
坂井記念特別賞候補者の推薦募集				1月18日(金) 必着	42-10 会5p	総

Webページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報 - What's New より -

- 2001年10月26日
・第467回理事会報告
- 2001年10月15日
・坂井記念特別賞候補者の募集について
・平成14年度代表会員候補者の募集について
- 2001年10月11日
・FAQのページを作成いたしました。ご覧ください。
- 2001年10月3日
・選挙制度の改善について
- 2001年10月1日
・第466回理事会報告

記1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。
 記2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。
 記3) 担当欄の記号は次のとおりです。 研: 調査研究, 事: 事業, 国: 国際, 論: 論文誌, 編: 会誌, 総: 総務, 経: 経理, 会: 会員, 規: 情報規格調査会, 北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部,

四: 四国支部, 九: 九州支部。
 各行事についての問合せ等は担当までお願いします。
 記4) 掲載頁欄の記号は次のとおりです。 本: 本誌, 会: 会告(付録), 全大: 全国大会プログラム(付録)

平成13年度山下記念研究賞の表彰

山下記念研究賞は、これまでは研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈をいただいた資金を活用するため、平成6年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。

本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、各領域委員会が選定委員会となって行います。本年度は表彰対象の17研究会の主査から推薦された計22編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、決定されたうえで、第466回理事会（平成13年7月）および調査研究運営委員会に報告されたものです。本年度の受賞者は下記の22君で、去る9月26日に山口大学で開催された第63回全国大会の席上、会長から表彰状、賞牌、賞金が授与されました。

[コンピュータサイエンス領域]

●Enterprise JavaBeans™ サーバ仕様の形式化と検証

[2000-SE-129 (2000.11.17)] (ソフトウェア工学研究会)



中島 震君 (正会員)

昭和54年東京大学理学部物理学科卒業。昭和56年同大学院理学系研究科修士課程修了。同年NEC入社。学術博士（東京大学）。現在、NEC ネットワーキング研究所主管研究員。オブジェクト指向技術、形式仕様と検証技術、ネットワークミドルウェアの研究開発に従事。昭和63年

～平成元年米国オレゴン大学訪問研究員、平成4～12年東京都立大学工学部非常勤講師を兼務、平成13年より法政大学情報科学部非常勤講師を兼務。

[推薦理由]

Enterprise JavaBeansのサーバ仕様を時相論理で形式的に表現し、モデルチェッカを用いてその仕様検証を行う方法を提案し、検証を行った。その結果、仕様の問題点を抽出し、モデルチェッキングの有効性を示した。従来使われてこなかったモデルチェッキングを実際の複雑な問題に対し適用する方法を示し、実際に検証を行った点で高く評価できる。

●オブジェクト指向開発におけるフォールト発生早期予測手法の一提案

[オブジェクト指向シンポジウム'99 (1999.7.23)] (ソフトウェア工学研究会)



神谷 年洋君 (正会員)

平成10年大阪大学大学院基礎工学研究科情報数系専攻博士前期課程修了。平成13年同博士後期課程修了。同年、科学技術振興事業団さきがけ研究21「協調と制御」領域 中小路グループメンバー、現在に至る。博士（工学）。ソフトウェアメトリクスおよび認知科学に関する研究に従事。

る研究に従事。

[推薦理由]

オブジェクト指向開発の設計段階でクラスの複雑度メトリクスに基づいてフォールトの発生するクラスを予測する方法を提案し、C++による実装例によって予測方法の有効性を評価した。従来のプログラムをベースとする評価方法に対し設計段階での評価方法を与えた点で、高く評価できる。

●スーパー scalerのための高速な動的命令スケジューリング方式

[2001-ARC-142 (2001.3.9)] (計算機アーキテクチャ研究会)



五島 正裕君 (正会員)

昭和43年生。平成4年京都大学工学部情報工学科卒業。平成6年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年より日本学術振興会特別研究員。平成8年京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程退学。同年より同大工学部助手。平成10年同大学院情報学研究科

助手。高性能計算機システムの研究に従事。

[推薦理由]

本論文は、スーパー scalar プロセッサ向けの、高速動作可能な命令スケジューリング機構を取り扱っている。VLSIの微細化技術進展に伴って、動的命令スケジューリング機構における命令発火回路の動作速度が、スーパー scalar プロセッサ全体の動作速度の向上に大きな影響を与えつつある。この命令発行回路において大きな動作時間を要する処理は一般的に連想検索処理である。本論文では、この連想検索を必要としない新しい命令発火回路を提案している。加えて、本論文では、提案方式を実際に回路設計して効果を確認し、信頼性の高い結果を報告している。以上のように、本論文は新規性並びに有用性・信頼性も高く、本賞推薦に値すると考える。

●オンチップマルチプロセッサにおける命令フェッチ方式

〔2000-ARC-139 (2000.8.4)〕(計算機アーキテクチャ研究会)



嶋田 幸子君 (正会員)

平成8年上智大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻博士前期課程修了。同年、日本電気入社。現在同社シリコンシステム研究所にてマイクロプロセッサの研究開発に従事。

〔推薦理由〕

本論文は、今後のマイクロプロセッサ構築のための主要技術の1つとなると考えられるオンチップマルチプロセッサにおける命令フェッチ方式を論じている。オンチップマルチプロセッサは、半導体集積度の向上に対しスケラブルな性能向上を可能とする方式として注目を浴びているが、その実現のためには年々大きくなるプロセッサ・メモリ間動作速度ギャップを克服し、プロセッサに命令とデータを効率よく供給することが不可欠である。本論文では、Merlotと呼ばれるオンチップマルチプロセッサをVLSIチップとして実際に設計する上で、命令フェッチ部を設計する方式を提案するとともに、実装する方式を絞りこむ際の設計トレードオフの検討を定量的に行っている。単なる紙上評価でなく、実際のVLSIチップ設計における種々のトレードオフポイントを定量的に明らかにしている点は、実用的な計算機工学の観点から興味深く、データ自体も大変有意義である。以上から、本論文は新規性・有用性とも高く、本賞に相応しい論文であると考えられる。

●The Theory of Twiners and Linear Parametricity

〔(2000.11.17)〕(プログラミング研究会)



長谷川 立君 (正会員)

昭和39年生。昭和62年京都大学理学部卒業。平成4年同大学院博士号(理)取得。同年～平成6年同大数理解析研究所助手。平成4～5年Ecole Normale Supérieure (France), Postdoctoral Fellow。平成6～8年Oxford University (U.K.), Research Officer。平成7年より東京大学大学院

数理科学研究科助教授。

〔推薦理由〕

本研究では、2階線形論理における不動点意味論の新しい定式化を提案している。不動点意味論は、再帰関数やオブジェクト指向プログラミングの理論的研究、プログラム変換などで利用される重要な概念であり、従来、Scott領域等を用いて構築されることが多かった。一方、長谷川氏の研究では、カテゴリー論に基づきtwinersとlinear parametricityという新しい概念を導入し、従来方法より簡潔で美しい定式化を行っている。今後の発展も大いに期待できる研究であり、本賞に値する。

●新しい計算機構の提案—線形回路による超並列計算—

〔新しい計算パラダイムシンポジウム2000 (2000.12.14)〕(数理モデル化と問題解決研究会)



上坂 吉則君 (正会員)

昭和34年名古屋工業大学工学部電気工学科卒業。同年～昭和48年NHK放送科学基礎研究所。昭和48～54年金沢大学工学部教授。昭和54年より東京理科大学理工学部情報科学科教授。工学博士。パターン認識、学習、ニューラルネット、アニーリング、遺伝的アルゴリズムなどの理論

研究に従事。最近は量子計算に興味を持つ。昭和60年度電子情報通信学会論文賞受賞。主要著書：「パターン認識と学習の理論」(文一総合出版)、「情報数学の基礎」(培風館)、「入門線形代数」(近代科学社)、「パターン認識と学習のアルゴリズム」(文一総合出版)、「ニューロコンピューティングの数学的基礎」(近代科学社)、「量子コンピュータの基礎数理」(コロナ社)ほか。

〔推薦理由〕

本研究は、線形写像のある種の計算機構と考えることにより、そこに無限並列性を抽出できる可能性があることを指摘する。この計算機構は、計算能力という点から見れば、量子チューリングマシンを下回るものではなく、したがってまた古典チューリングマシンを下回らないという位置にあり、量子チューリングマシンを現実のハードウェアとする量子コンピュータの研究が困難とされている現在、受動線形回路を主体とした本計算機構のアプローチは、より実現性が高いものと期待される。計算理論体系の構築、実装技術の確立等の課題は多く残るが、着眼点に特に優れるので、本賞に推薦するものである。

●Hierarchical Approach to Parallel Tree Search for Protein Conformational Analysis

[2000-MPS-30 (2000.6.27)] (数理モデル化と問題解決研究会)



安藤 誠君 (正会員)

昭和42年生。平成4年慶應義塾大学大学院理工学研究科計算機科学専攻修士課程修了。同年日本鋼管(株)入社、現在に至る。この間、平成6~8年コンベックスコンピュータ社(米国テキサス州)に派遣。平成8~10年技術研究組合新情報処理開発機構に出向、並列分散システム

パフォーマンスつくば研究室研究員。現在は、同社より産業技術総合研究所生命情報科学研究センターに派遣、並列計算機上でのタンパク質立体構造解析等の研究に従事。平成10年大阪大学大学院基礎工学研究科情報数理系専攻博士後期課程入学、現在同課程に在学中。日本バイオインフォマティクス学会会員。

[推薦理由]

本研究は、タンパク質の立体構造を並列木探索を用いて網羅的に解析する手法において、部分探索木への効果的な分割方法と、その探索結果のライブラリ化による探索空間の大幅な縮小化の手法を提案している。本提案内容は、創薬研究において重要な分子の立体構造解析に適しており、製薬関連業界へのインパクトも大きく、また現在進行中のさまざまなゲノムプロジェクトとの関連もあり、今後の発展が期待できる。また、実際にその枠組みに沿ったプロトタイプシステムを構築し、創薬研究において実用的なペプチドの解析を行い、その有効性を検証していることも評価できる。以上のように本研究はきわめて優秀であり、本賞に推薦する。

[情報環境領域]

●Replica Management in Object-based Systems

[マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (2000.12.7)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)



田中 勝也君 (正会員)

平成7年東京電機大学理工学部経営工学科卒業。平成9年同学部システム工学専攻修士課程修了。同年、NTTデータ通信(株)入社。UniSQL製品事業推進部へ配属。UniSQL(オブジェクトリレーショナルデータベースシステム)の開発を担当。平成11年(株)NTTデータ

退社。同年、東京電機大学理工学部情報システム工学科助手。平成12年10月東京電機大学理工研究科より、博士(工学)を取得。

[推薦理由]

候補者は、これまでに、推薦対象となっている論文(DPSワークショップにて発表)を含め、DPS主催の研究会にて、多数の論文を発表している。推薦論文は、高信頼分散型システムの実現方法に関して議論した論文である。システムの高信頼性は、電子決済システムのようなミッションクリティカルな応用で強く求められており、この点で必要性の高い研究であると判断される。発表が行われたDPSワークショップでは、Young Researcher's Awardを受賞するなど、論文の質に関しても高い評価を受けている。以上の理由から、講演者を本賞の候補者として推薦するものとする。

●利用制約に基づくマルチメディアコンテンツ流通システムの設計

[99-DPS-95 (1999.11.18)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)



寺西 裕一君 (正会員)

昭和45年生。平成7年大阪大学大学院基礎工学研究科情報工学専攻修士課程修了。同年日本電信電話(株)入社。主にデータベース、情報システムの研究開発に従事。

[推薦理由]

今後のネットワークの発展に不可欠となるであろう、コンテンツ流通の利用制約管理技術をルールベースで動的に生成する試みにおいて、現実的な設計を示している点が評価できる。また、アプリケーションとして個人情報流通を扱っており、コンテンツ利用制約管理技術がプライバシー管理の領域にも適用可能であることを示しており有効な提案といえる。以上の理由から、講演者を本賞の候補者として推薦するものとする。

●細分割曲面の連続的多重解像度表現

[2000-CG-100 (2000.9.7)] (グラフィクスとCAD研究会)



金井 崇君 (正会員)

昭和44年生。平成10年東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻博士課程修了。博士(工学)。同年理化学研究所基礎科学特別研究員、平成12年慶應義塾大学環境情報学部専任講師、現在に至る。コンピュータグラフィクス、形状モデリング、CAD/CAM等の研究に従事。精

密工学会、芸術科学会、ACM、IEEE-CS各会員。

[推薦理由]

本論文は任意の解像度の細分割曲面を格納し取り出すことのできる表現法を提案している。この手法はHoppeの提案したプログラッシブメッシュと同様の形式で表現されており、その良い性質を受け継いでいる。これによって頂点数や誤差を基準として細分割曲面の粗密を調整することができ、適応的細分割により、粗密を領域ごとに変えられるので、レンダリングのときにも有効な手法である。この手法は、可逆性、均一性、頑健性、適応性、視認性に優れており、インターネットを介した形状データの転送などにも役立つ手法である。以上のことから、本論文はきわめて学問的意義も高く、実用的にも有用な手法であることから本賞に値するものと認め、推薦する。

●文珠の知恵システムにおける資料共有手法の試作とその評価

[2000-AVM-28 (2000.3.3)] (オーディオビジュアル複合情報処理研究会)



青木 輝勝君 (正会員)

平成5年東京大学工学部電子工学科卒業。平成10年同大学院博士課程修了。現在、東京大学先端科学技術研究センター助手。工学博士。デジタルコンテンツ流通に関する研究、超臨場感ビデオ会議システムに関する研究、次世代画像符号化方式に関する研究、バイオメトリクス個人認証技術に関する研究、アクティブネット

ワークに関する研究、高速大容量パケット交換方式に関する研究、高速LAN/MANのアクセス制御方式に関する研究、等に従事。平成6年(財)電気電子情報通信振興財団猪瀬学術奨励賞、平成12年(財)電気通信普及財団論文賞受賞。電子情報通信学会、日本ゲーミング&シミュレーション学会、IEEE各会員。

[推薦理由]

本論文の筆者らは、「文珠の知恵システム」と名付けられた高性能ビデオ会議システムの研究を従来から積極的に推進している。本論文ではシステム実現上の重要な要求条件である、臨場感ある場の共有、優れたインタフェースをもつ協調環境方式を詳細に検討している。特に、視線一致・接近感・声の指向性など場の臨場感を高めるグローバルな要素から、会議モードの多様性や資料ポインティングといったインタラクション要素に至るまでを、すべて実際に装置試作して実現性を検証したシステムは従来なく、その意義は大きい。今後の広帯域ネットワーク環境の普及にともない、本システムはキラーアプリケーションとなる可能性を秘めた発表としてたいへん大きく評価でき本賞の受賞に値する。

●SpaceTagのアプリケーションとその社会的インパクト

[99-GW-33 (1999.10.21)] (グループウェア研究会)



垂水 浩幸君 (正会員)

昭和35年生。昭和63年京都大学大学院工学研究科博士後期課程情報工学専攻研究指導認定退学。同年日本電気(株)入社。ソフトウェア生産技術開発本部、関西C&C研究所に勤務し、最終職位は研究専門課長。平成9年より京都大学助教授。平成13年4月より香川大学工学部信

頼性情報システム工学科教授。グループウェアなどのヒューマンインタフェース、ネットワークを利用したサービスに興味を持つ。日本ソフトウェア科学会、日本バーチャルリアリティ学会サイバースペースと仮想都市研究会、ビジネスモデル学会、ACM、IEEE-CS各会員。現在、本会グループウェアとネットワークサービス研究会幹事。工学博士。

[推薦理由]

筆者らの提案するSpaceTagシステムは、モバイルユーザに対して情報を位置・時間限定で提供する独創的なものである。本論文では、一見不便そうに見える限定性により、逆にアプリケーションの豊富な魅力的なシステムとなる点をまず主張している。SpaceTagは双方向メディアであるために、コミュニティの支援に使えることはもちろん、ゲーム、広告、公共情報サービスなどにも利用できる。さらに、本論文ではSpaceTagの反社会的利用の可能性とその対策、権利問題の発生する可能性、通信と放送の垣根問題等、社会が今後取り組んで行くべき課題も示している。今後のグループウェア、およびネットワークサービス分野の新たな可能性と課題を示唆しており、参考になる点が多い。よって本賞に推薦する。

●ワイヤレスアドホックコミュニティネットワーク

[2000-MBL-14 (2000.9.22)] (モバイルコンピューティングとワイヤレス通信研究会)



行田 弘一君 (正会員)

昭和61年上智大学電気・電子工学科卒業。平成4年同大学院理工学研究科博士後期課程修了。平成3年郵政省通信総合研究所勤務。平成9年(株)エイ・ティ・アール環境適応通信研究所へ出向。ワイヤレスアドホックネットワークの研究に従事。平成13年独立行政法人通信総合研

究所へ復職し、現在企画部企画室主任研究員。博士(工学)。電子情報通信学会、IEEE各会員。

[推薦理由]

本論文は、ワイヤレスアドホックネットワーク実現の要素技術となるルーティング方式、高速応答の期待できる空間的セグメンテーション決定方式、無給電素子を利用したアダプティブアンテナ構成法など、物理層での構成技術について提案し、理論計算および計算機シミュレーションにより高周波技術の実現性を明らかにしている。研究内容はワイヤレスアドホックネットワーク実現に重要となるもので、アダプティブアンテナ等について試作レベルの検討を行っている点も論文として評価できる。

●MobileIPネットワークにおける動的遅延ACK制御機構

[2001-MBL-16 (2001.2.14)] (モバイルコンピューティングとワイヤレス通信研究会)



尾上 裕子君 (正会員)

昭和63年慶應義塾大学工学部数理科学科卒業。平成2年同大学院理工学研究科数理科学科専攻修士課程修了。同年日本電信電話(株)入社。現在(株)NTTドコモマルチメディア研究所主任研究員。携帯電話用IP応用技術等の研究開発に従事。静岡大学大学院理工学研究科博士

後期課程在学中。

[推薦理由]

本論文は、MobileIPネットワーク上で移動端末がTCP/IP通信を行うモバイル通信環境において、MobileIPの経路最適化機能に起因するTCPシーケンス番号順序逆転問題について検討している。本問題を解決するために、移動端末がハンドオーバー後一時的に遅延ACKを応答する動的遅延ACK制御機構を提案している。さらに、方式適用についてシミュレーション評価を行い、有効性を示した。今後検討すべき余地はあるが、新世代の移動通信網におけるTCP/IP適用時の課題を示した重要なものである。

[フロンティア領域]

●コーパスからの語順の学習

[2000-NL-135 (2000.1.27)] (自然言語処理研究会)



内元 清貴君 (正会員)

平成6年京都大学工学部卒業。平成8年同大学院修士課程修了。同年郵政省通信総合研究所入所。現在独立行政法人通信総合研究所研究員。自然言語処理の研究に従事。言語処理学会、ACL各会員。

[推薦理由]

日本語のように語順が自由であるといわれている言語においては、自然な文をいかに生成するかが重要な問題となる。本研究では、解析済のコーパスから自然な語順を学習、生成する方法を示し、その有効性を実験的に示した。また、語順を定める要因について、それらの寄与する度合を統計的に分析しており、客観的に評価を行っている。この技術は、機械翻訳や要約などのさまざまな文生成の処理に有効と考えられ、文章生成技術の新たな発展をうながす研究となっている。

●チャンキングの段階適用による係り受け解析

[2001-NL-142 (2001.3.5)] (自然言語処理研究会)



工藤 拓君 (正会員)

昭和51年生。平成11年京都大学工学部電気電子工学科卒業。平成13年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了。同年同博士後期課程入学。以来、機械学習、統計的自然言語処理、情報検索の研究に従事。

[推薦理由]

Support Vector Machineを用いた日本語係り受け解析のための新しいモデルを提案し、高性能な従来法の性能を落とさず、理論的にも整理された方式で、従来法の学習・解析速度を大幅に短縮した手法を提案した。統計的統語解析において、従来のどの方法をも上回る精度(90%)を達成しており、統語解析のような複雑な処理において、人手で作成されたシステムに匹敵するシステムを学習に基づく手法で達成できることを示した点で価値のある成果と認める。

●ロボットの心を読む：関係性に基づくコミュニケーションのモデル

[2000-ICS-122 (2000.10.13)] (知能と複雑系研究会)



小野 哲雄君 (正会員)

平成9年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。同年(株)ATR知能映像通信研究所客員研究員。平成13年10月より公立はこだて未来大学システム情報科学部情報アーキテクチャ学科助教授。博士(情報科学)。認知科学、人工知能一般に興味を持つ。特に、

感情の計算モデル、マルチエージェントモデルによる共通言語の組織化、ヒューマンインタフェースおよびヒューマンロボットインタラクションに関する研究に従事。平成10年本学会全国大会優秀賞、平成11年人工知能学会全国大会優秀論文賞、他受賞。認知科学会、人工知能学会各会員。

[推薦理由]

近年、心の存在やその脳内のメカニズム、および相互行為の意味に注目が集まっており、人工知能、脳科学、心理学、ロボティクスなどさまざまな分野の知見を生かした新しい研究の方向性が求められている。本研究は、人とロボットのコミュニケーションにおける「心を読む」メカニズムに注目することによって、発話理解のモデルを提案しており、その有効性を実際の人間との相互作用を調べる実験によって検証している。この意味で心の理論への学際的なアプローチに新たな展望を拓くものとして高く評価できる。

●ステレオ動画像を用いた視覚誘導のための平坦部の連続推定

[2000-CVIM-123 (2000.9.14)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)



奥富 正敏君 (正会員)

昭和56年東京大学工学部計数工学科卒業。昭和58年東京工業大学大学院理工学研究科制御工学専攻修士課程修了。同年キャノン(株)中央研究所入社。昭和62~平成2年カーネギーメロン大学コンピュータサイエンス学科客員研究員。平成4年キャノン(株)情報システム研究

所主任研究員。平成6年東京工業大学大学院情報理工学研究科情報環境学専攻助教授。コンピュータビジョン、画像処理、画像計測に関する研究に従事。工学博士。電子情報通信学会、計測自動制御学会、日本ロボット学会、画像電子学会、IEEE各会員。

[推薦理由]

本論文では、ステレオ動画像から空間中の平坦部に対応した領域を自動的に抽出する手法とその自律移動車の視覚誘導への応用が提案されている。従来、車両の自動誘導などでは道路脇の白線などの幾何特徴を追跡する手法が多く試みられてきたのに対し、本研究ではステレオ動画像から2画像間の射影変換行列にもとづき平面に近い領域を特定するという考え方が新たに紹介されている点が大変興味深い。また、照明などが大幅に変化する屋外環境において撮影されたステレオ動画像による実験に関しても良好な結果が報告されている。以上より、本論文は本賞にふさわしいと考えここに推薦する次第である。

●「情報教育」の情報化

[2000-CE-55 (2000.2.18)] (コンピュータと教育研究会)



原田 康也君 (正会員)

昭和60年東京大学大学院人文科学研究科博士課程英語英文学専門課程満期(単位取得)退学。昭和61年早稲田大学法学部専任講師嘱任。平成元年同大法学部助教授。平成3～5年スタンフォード大学 CSLI (言語情報研究センター) 訪問研究員。平成6年早稲田大学法学部教授、現在に至る。平成6～8年早稲田大学情報科学研究教育センター教務主任嘱任。平成8～10年同大メディアネットワークセンター教務主任嘱任。平成10～12年同大メディアネットワークセ

ンター教務担当教務主任嘱任。平成12年同大総合研究機構情報教育研究所所長嘱任(現在に至る)。平成13～14年スタンフォード大学 CSLI (言語情報研究センター) 訪問研究員。早稲田大学語学教育研究所兼任・兼任研究員、早稲田大学メディアネットワークセンター兼任研究員、早稲田大学教育総合研究所兼任研究員、早稲田大学大学院教育学研究科兼任。私立大学情報教育協議会英語情報教育研究委員会委員、コンピュータ利用教育協議会(CIEC)理事。専攻分野: 計算言語学・形式意味論・認知科学・文法理論・情報倫理教育・教育の情報化。

[推薦理由]

原田氏は「教科教育の情報化」と「情報の教育」を峻別した上で、大学の一般教育として、「(情報倫理を含む)情報の教育」を「教科教育の情報化」の方法論に従って実践し、その結果を報告している。その内容は、コンピュータ操作等の解説と練習は最低限に絞り、情報倫理にかかわる最新の話題を素材とし、内容を変えて毎回同じ作業を行わせることにより、操作法等の定着をはかると共に、高度な技術を学生に自主的に学ばせる、というものである。学習者のコンピュータ使用経験が一層多様化する今後の大学教育において、顕著な教育効果を上げ得る方法と考えられ、受賞に値する。

●舞踊符による動作の記述法の提案

[99-CH-42 (1999.5.21)] (人文科学とコンピュータ研究会)



海賀 孝明君 (正会員)

平成7年茨城大学大学院工学研究科機械工学専攻博士前期課程修了。同年、新技術事業団(現科学技術振興事業団)入社。平成8年(株)わらび座入社、現在に至る。平成9年より民族芸能のモーションキャプチャによる記録保存の研究に従事。日本機械学会会員。

[推薦理由]

本論文は、人間の3次元動作に対する新しい記述の手法を提案し、舞踊符とモーションキャプチャシステムを用いた動作記述システムを実現した研究報告である。人間動作に関しては、体系化された表記法が確立されていない状況の中で、民俗芸能を対象に舞踊符を用いて人間の一連の動作を記述する手法の提案は先駆的である。また、舞踊符を任意に組み合わせて動作の作成を行うための「舞踊コンポーザ」や動作を合成・出力する「舞踊コンバータ」など統合的なシステムを実現すると共に、モーションキャプチャを動作記述に用いた最初の本格的な研究として高く評価できる。

●学習するセッションシステム：演奏者の振る舞いのモデルの獲得

[2000-MUS-34 (2000.2.17)] (音楽情報科学研究会)



浜中 雅俊君 (正会員)

平成10年日本大学理工学部卒業。平成12年筑波大学大学院工学研究科修士課程修了。現在同博士課程工学研究科電子・情報工学専攻。

[推薦理由]

従来アドホックにプレーヤが設計されることが多かったジャムセッションシステムにおいて、実際の演奏者を模倣して設計するという新たなアイデアを導入した論文である。この中で、モデル化に際して、心理実験の実施、その結果と物理特徴量との関係などにさまざまな工学的手法を効果的に用いている点、実際に模倣したプレーヤとセッション可能な動くシステムを実現した点、および研究の方向性として今後さらに発展の可能性が高いという点から、上記論文を推薦する。

●Application of df-pn+ to Othello Endgames

[ゲーム・プログラミングワークショップ'99 (1999.10.15)] (ゲーム情報学研究会)



長井 歩君 (正会員)

昭和49年生。平成9年東京大学理学部情報科学科卒業。平成11年同大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。現在、同博士課程在学中。探索、人工知能に関する研究に従事。

[推薦理由]

AND-OR 木の探索は Proof Number Search 等、最近研究がすすんだ分野である。この論文では heuristic estimate をうまく探索ノードの選択に用いる方法を提案していて、オセロの終盤に適用した、従来の探索と比較して展開するノード数が $1/6$ という結果はこの手法の妥当性を示していて、他のゲームへの応用も有力であると考えられる。



選挙制度の改善について

会長 鶴保 征城

このたび第467回理事会（平成13年9月27日開催）では、選挙制度に関するいくつかの問題点を改善すべく検討を行い、より多くの選挙権者の意思が反映され、意欲的な適任者が選出されるよう、以下の概要の通り選挙制度を改定することといたしました。

今回の改定により本会が一層活性化されるよう、会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 基本的な考え方

次の通り、会員一人一人の学会活動へのかかわりに配慮し改定を行った。

- (1) 選挙権者に理解されやすい理事候補者区分
- (2) 候補者に対するチャンスの平等化および意欲的な適任者の選出
- (3) 組織の力に頼ることなく個人の活動力を最大限に生かせるようにする
- (4) 役員構成が著しく特定組織に偏らないようにする
- (5) 全会員に対する関連規程の公開等を通じた選挙制度の透明化

*なお、今回の改定は現行定款の範囲内で行うが、今後、理事定数の増員等の改善が必要と認められる時点では定款の改訂を含めた検討も行うことを付記する。

2. 改選定数表の変更等について

- (1) 選挙権者に理解されやすい理事候補者区分とするため、理事候補者グループの区分を、候補者の所属組織別区分によるものから、担当業務別区分に改定する。
- (2) 本会の一層の活性化のため、会長候補者を1名から2名に改定する（対立候補者を立てる）。
- (3) 役員構成が著しく特定組織に偏ることを避けるため、役員（会長、副会長、監事を除く）の中で、同一組織に所属する役員は2名以内とする。

*編集長および調査研究運営委員長については現段階では理事とせず適切な人選を会長に一任する。

[現行の役員改選定数等表]

	会長改選年度		会長非改選年度	
	改選定数	候補者数	改選定数	候補者数
会長	1	1	0	0
副会長	1企業	2	1教育	2
監事	1	2	1	2
理事				
[教育]	3	6	4	8
[企業A]*	3	6	3	6
[企業B]*	2	4	2	4

*：企業Aは会員数300名以上の企業、企業Bは企業A群以外の企業

[改定後の役員改選定数等表]

	会長改選年度		会長非改選年度	
	改選定数	候補者数	改選定数	候補者数
会長 ^{注1}	1	2	0	0
副会長 ^{注2}	1企業	2	1教育	2
監事 ^{注3}	1教育	2	1企業	2
理事 ^{注4}				
Aグループ ^{注5}	3	6	4	8
Bグループ ^{注6}	5	10	5	10

注1：対立候補者を立てる。所属は考慮しない。

注2、3：企業・教育の交替制とする。

注4：A・Bグループの担当業務別とし、同一組織に所属する理事は最大2名以内とする。（同一企業グループ（親会社とその子会社）は同一組織とみなす。）

注5：Aグループは会誌、論文誌・教育、調査研究業務のいずれかを担当する。

注6：Bグループは総務、財務、事業、国際、出版電子化業務のいずれかを担当する。

会告の電子化に向けて、ご理解とご協力をお願い

本会では、電子化事業の一環として、会告を現在の冊子体からWWWへと順次移行していくことを計画しております。

平成13年4月号より一部をWWWへ移動し、その後会員の皆様への情報提供サービスに支障がないかを判断したうえで、問題がなければ平成14年4月号からは今まで「情報処理」とともに別冊としてお送りしていた会告を全面的に廃止し、その内容をすべてWWW上でご覧いただく方針です。ただし、学会運営上重要な通知事項（役員選挙など）については別途方法でも周知する予定です。

会告をWWW上に移行することで、会告情報が随時更新されるようになるため、会員の皆様には常に最新情報が入手できるというメリットがあります。また、冊子廃止に伴う経費削減の効果も見込まれます。

これを機会に会員の皆様には、より一層学会活動にご参画いただけるものと期待しております。

下記の移行予定表をご参照のうえ、会員の皆様にはご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

■42巻4号（平成13年4月号）よりWWWへ移行する内容

- 機関誌原稿執筆案内
- 研究報告
- 新規入会者リスト
- 学会販売書籍リスト
- 理事会報告
- 支部総会報告
- 組織図／事務局組織表

- 平成〇年度研究会開催予定表
- 当月論文誌採録原稿リスト
- 論文誌査読委員リスト
- 書籍申込書
- 通常総会報告
- 各種委員会の委員名簿

■42巻4号（平成13年4月号）より本誌掲載から会告へ移す内容

- 賛助会員入会のおすすめ
- 賛助会員名簿

■43巻4号（平成14年4月号）より全面WWW掲載

3. 役員候補者の推薦人の追加

さらに広い会員層からの意見を反映させるため、現行の推薦人に代表会員（重複を除く）を追加する。

[現行の推薦人]

全役員、支部長、IFIP委員長、編集長、会誌・論文誌編集委員会WG主査、調査研究運営委員長、領域委員長、研究会主査、および会長・副会長経験者

[改定後の推薦人]

[上記現行の推薦人] + [現行推薦人との重複を除く代表会員]

4. 推薦された役員候補者の絞り込み過程の変更

- (1) 候補者選出過程の透明性向上のため、推薦された候補者の絞り込み（2次投票）を現行の理事会から前項の改定後の推薦人に変更する。
- (2) 候補者の順位の決定は2次投票の結果に従う。ただし、2次投票の結果、得票数が同数の候補者について理事会でその順位を決定する。同一人が2つ以上の役職・担当業務にわたる場合は候補者本人の意向を確認し、そのうちの1つに限定する。

[現行の候補者絞り込み作業母体]

理事会

[改定後の候補者絞り込み作業母体]

前項の改定推薦人

5. 選挙権者への候補者に関する情報提供の充実

- (1) 役員候補者の略歴・抱負等の情報は、現行内容を学会の公的情報とし、学会Webページに公開する。
- (2) 代表会員候補者の情報は、役員候補者に準ずる程度を学会の公的情報とし、学会Webページに公開する。
- (3) 同時に、次期改選より前述の公的情報は、投票用紙に同封して選挙権者に郵送する。
- (4) 前述の公的情報以外に、役員・代表会員候補者とも、候補者本人が作成した抱負等掲載ページを学会Webページからリンクすることを可能とする。候補者本人が作成するページの内容は、本学会会員としての節度ある範囲内において自由とする。

6. 選挙制度の透明性の向上

選挙制度の透明性を高めるため、本規程の他、細則・内規についても学会Webページ上で公開する。

論文賞候補の論文推薦のお願い

論文誌編集委員会

平成13年度論文賞の候補論文を推薦される会員は、下記事項を参考のうえ、論文の題名、著者名、掲載巻号、推薦理由および推薦者住所氏名を官製はがきに記入のうえ、本学会論文賞係宛お送りください。

[論文賞選定条件]

選定範囲および推薦数 平成12年10月から平成13年9月までの間に「情報処理学会論文誌」(Vol.41 No.10～Vol.42 No.9)、「情報処理学会論文誌：プログラミング」(Vol.41 No.SIG9 (PRO8), Vol.42 No.SIG2 (PRO9), Vol.42 No.SIG3 (PRO10), Vol.42 No.SIG7 (PRO11))「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」(Vol.41 No.SIG7 (TOM3), Vol.42 No.SIG5 (TOM4))、「情報処理学会論文誌：データベース」(Vol.41 No.SIG6 (TOD7), Vol.42 No. SIG 1 (TOD 8), Vol.42 No.SIG4 (TOD9), Vol.42 No.SIG8 (TOD10), Vol.42 No.SIG10 (TOD11))、「情報処理学会論文誌：ハイパフォーマンスコンピューティング」(Vol.41 No.SIG8 (HPS2), Vol.42 No.SIG9 (HPS3))「情報処理学会論文誌：コンピュータビジョンとイメージメディア」(Vol.41 No.SIG10 (CVIM1), Vol.42 No.SIG6 (CVIM2))、に発表され

た論文の中から1編。
推薦資格 本学会正会員に限ります。
締切日 平成14年1月11日(金)

表彰規程(抜粋)

- 第3章 論文賞
- 第9条 論文賞は、本学会の論文誌(ジャーナル、各トランザクション)に発表された論文およびテクニカルノート(以下テクニカルノートを含め論文という)のうち、特に優秀なものを選び、その著者に贈呈する。
- 第10条 表彰する論文は、原則として毎年4編とするが、編数は事情により変更することができる。
- 第11条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前々年の10月から前年の9月までの間に発表されたものであることを要する。
- 第12条 表彰する論文が共著の場合は、共著者全員を表彰する。
- 第13条 論文賞は、同一著者に重ねて授与しても差支えない。
- 第14条 論文賞は、賞状、賞牌および賞金とする。賞金は、論文1編につき5万円とする。

研究発表会開催通知

(平成13年11月30日～12月23日)

◆第14回 電子化知的財産・社会基盤研究会

(発表件数：8件)

(主査：安田 浩，幹事：池田 誠，河原正治，松本恒雄)

日時 平成13年11月30日(金) 13:00～17:30

会場 NTT武蔵野研究開発センター

[武蔵野市緑町3-9-11.]

<http://www.islab.ecl.ntt.co.jp/info/info.html>

議題

- (1) モバイル・コマースにおける利用意向と社会的存在の可能性の検討 前川 徹，菅田 肇(早大)
- (2) インターネット・オークションにおける入札者の行動分析 黒澤 聡，前川 徹(早大)
- (3) ネット通販におけるブランドの意義 鈴木重則(早大)
- (4) 大規模システムにおける特許のロイヤリティ率について 千保卓也，金田重郎(同志社大)
- (5) 視聴率を用いた利益再分配型コンテンツ流通方式の提案 藤井治彦，塩野入理(NTT)
- (6) コンテンツ保護の柔軟化が可能な開放型超流通基盤とその応用 穴澤健明(日本コロムビア)，常広隆司(日立) 武村浩司(三洋電機)，長谷部高行(富士通研)，島山卓久(富士通)
- (7) 社会システムとしての超流通システム再考 毛利裕昭(早大)
- (8) e-BusinessのScope.merit型企業行動モデル 小島 工(明星大)

◆第35回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

(発表件数：10月11日現在10件)

(主査：八島由幸，幹事：小館亮之，秦泉寺久美，柳原広昌)

この研究会はSCS(通信衛星による遠隔講義)システムを用い、参加大学を結んで行われます。最終スケジュール、発表順については、別途下記Webページ上でお知らせいたします。

日程 平成13年12月13日(木)・14日(金)

会場 北海道大学 高等教育機能開発総合センター 高等教育開発研究部

[札幌市北区北9条西8. http://infomain.academic.hokudai.ac.jp/scs/hokudai_scs.asp Tel(011)706-6077

E-mail:mikich@media.eng.hokudai.ac.jp(長谷山美紀)]

名古屋大学

[名古屋千種区不老町. Tel/Fax(052)789-3628

E-mail:kimoto@nuee.nagoya-u.ac.jp(木本伊彦)]

議題 テーマ：画像符号化・通信・ストリーム技術および一般
○名古屋大学で発表

- (1) ベクトル量子化による光線空間符号化

川浦正規, 藤井俊彰, 木本伊彦, 谷本正幸 (名大)

- (2) リアルタイム自由視点画像生成システム
関藤 誠, 峯名輝幸, 藤井俊彰, 木本伊彦, 谷本正幸 (名大)
- (3) 分散仮想環境における端末同期方式
都丸 清, 石橋 豊, 田坂修二 (名工大)

○北海道大学で発表

- (1) 略画による画像検索へのMPEG-7の応用
青木秀一, 青木輝勝, 安田 浩 (東大)
- (2) デジタルミラーシステムの一検討
田口哲典, 青木輝勝, 安田 浩 (東大)
- (3) 映像編集支援システムのためのインデキシングパラメータ抽出手法の検討
金田瑞規, 土橋健太郎, 高木真一, 小館亮之, 富永英義 (早大)
- (4) 画紋情報を用いた動画像検索方式の実装とその応用に関する検討
高木真一, 小館亮之, 大串亮平, 奥野洋平, 越井 剛
土橋健太郎, 池上大介, 大崎佑紀, 奥村真澄, 金田瑞規, 田邊 集
中神央二, 服部しのぶ, 横山和正, 涌井道子, 富永英義 (早大)
- (5) 携帯電話によるビデオ配信向け高機能コンテンツ制作システム
滝嶋康弘, 米山暁夫, 宮地悟史, 柳原広昌
中島康之, 和田正裕 (KDDI研)
- (6) 映像の特徴に応じたAVデータからの自動要約抽出方式に関する検討
菅野 勝, 中島康之, 柳原広昌 (KDDI研)
- (7) ニュース索引のためのMPEGからのテロップ検出に関する検討
加藤晴久, 菅野 勝, 柳原広昌, 中島康之 (KDDI研)

* プログラム最終版は, 本研究会Webページ
http://www.tom.comm.waseda.ac.jp/~avm/をご覧ください.
* 電子情報通信学会 (画像工学研究会, 通信方式研究会), 映像情報メディア学会 (放送技術放送方式研究会) との共催.

◆第62回 コンピュータと教育研究会 (発表件数: 11件)
(主査: 武井恵雄, 幹事: 角 行之, 佐野 洋, 澤田伸一)

日 時 平成13年12月14日 (金) 10:00~17:00
会 場 東京外国語大学
[府中市朝日町3-11-1. http://www.tufts.ac.jp
Tel (042)330-5126 (総務課)]

議 題

- [10:00~11:30]
- (1) 実践的インストラクショナル・デザイン技法およびID支援ツール
"UNIKISD" 右近 豊 (日本ユニシス)
- (2) 文科系向プログラミング教育支援システムJPADETの設計と開発
河村一樹 (東京国際大), 斐品正照 (宮城大)
徳岡健一 (日本科学技術研修所)
- (3) ユーザ適応化機能を備えた学習支援システム
松澤文太郎, 藤原祥隆, 岡田信一郎 (北見工大)
- [12:30~17:00]
- (4) 地域イントラネットを活用した高校教科「情報」教員支援環境についての一考察
村本 卓, 出口博章 (八戸大)
- (5) 情報交換を可能とした電子黒板・ノートシステムの試作
石田 準, 坂東宏和, 加藤直樹, 中川正樹 (農工大)
- (6) 遠隔受講と講義ライブラリ化の機能をもつ教育支援システムの試作
池田久範, 古川将範, 角 真慈, 笠原千秋
小山博史, 平岡信之, 和田 勉 (長野大)
- (7) SMILを利用した衛星画像のマルチメディア教材化
浅井文男, 有本摩那 (奈良高専), 平野年恵 (シャープ)
- (8) 日本語学習者のための慣用句データベースの作成 - 統計処理を用いた一手法の提案 -
ダニー・ミン, 佐野 洋 (東京外語大)
- (9) 多言語教材の利用効率を向上させる学習ポータルサイトの構築 (その1)
傳 智之, 高鹿奈美子, 高川香名子, 水越直江 (東京外語大)
- (10) コンピュータサマースクールの試み
松澤芳昭, 坂野敦史, 大岩 元 (慶大)
- (11) 大学・高校・中学の情報教育における創成科目の意義
白畑陽介, 徳永幸生 (芝浦工大), 丸山広光 (芝浦工大/柏中高)

◆第39回 音声言語情報処理研究会 (発表件数: 34件)
(主査: 小林哲則
幹事: 相川清明, 伊藤克互, 河原達也, 鹿野清宏)

- 第3回音声言語シンポジウム -
日 時 平成13年12月20日 (木) 9:30~17:50

21日 (金) 9:30~16:50

会 場 東京工業大学国際交流会館多目的ホール
[東京都大田区石川町1-1-18. http://www.titech.ac.jp/maps/index-j.html (大岡山キャンパス 石川台地区)]

議 題

12月20日 (木)

[9:30~9:40] ○開会の挨拶 実行委員長 平川秀樹 (NLC主査)

[9:40~12:00] ●session-1 音声分析と適応技術

(1) (サーベイ) 話者適応 篠田浩一 (東大)

(2) 音声認識における高精度な動的特徴量計算法の提案

小早川健, 世木寛之, 松井 淳, 尾上和穂, 佐藤庄衛

今井 亨, 安藤彰男 (NHK技研)

(3) 単語・文音声双方に高い認識性能を持つ周辺特徴抽出方式

福田 隆, 新田恒雄 (豊橋技科大)

(4) HMMと音節セグメントの統計量を用いた音節認識

高橋伸寿, 中川聖一 (豊橋技科大)

(5) 最尤推定に基づく線形変換を用いた声道長正規化

六井 淳, 中井 満, 下平 博 (北陸先端大)

嵯峨山茂樹 (東大/北陸先端大)

(6) 環境音モデルとHMM合成による音声区間検出法の文章発話への適用

渡部生聖, 山田武志, 北脇信彦 (筑波大), 浅野 太 (産総研)

(7) 発声重複区間を含む対話音声の話者区分化に関する検討

小林雅史, 北村達也, 北澤茂良 (静岡大)

[13:10~15:10] ●session-2 耐雑音音声認識

(8) (サーベイ) 耐雑音音声認識のプロジェクト紹介

中村 哲 (ATR)

(9) ATR System for Robust Speech Recognition

Konstantin Markov, Tomoko Matsui, Rainer Gruhn

Satoshi Nakamura (ATR)

(10) Noisy Speech Recognition based on Robust Features and A

Model-Based Noise Compensation evaluated on AURORA 2

Task Kaisheng Yao, Jindong Chen, Kuldip Paliwal

Satoshi Nakamura (ATR)

(11) 雑音DBを用いたモデル適応化HMMのSN比別マルチパスモデル

による雑音化音声認識 伊田政樹, 中村 哲 (ATR)

(12) 雑音除去音声に対する特徴量抽出とMLLR適応の統合による雑音

に頑健な音声認識 藤本雅清, 有木康雄 (龍谷大)

(13) 音声のピッチ変動の耐雑音音声認識における効果

相川清明, 石塚健太郎 (NTT)

[15:30~16:50] ●session-3 (招待講演) ロボットと音声言語

(14) ロボット聴覚の課題と現状 奥乃 博 (京大)

(15) ロボットによる言語獲得 岩橋直人 (ソニー-CSL)

[16:50~17:50] ●session-4 ポスター発表

(16) 視覚情報を話題の対象とする音声対話システム

山肩洋子, 河原達也, 奥乃 博 (京大)

(17) ロボットによる音声理解のためのインタラクティブ学習

宮田篤人 (ソニー-CSL/電通大), 岩橋直人 (ソニー-CSL)

樽松 明 (電通大)

(18) Juliusを用いた学内案内ロボット用音声対話システムの作成

西村竜一, 内田賢志, 李 晃伸

猿渡 洋, 鹿野清宏 (奈良先端大)

(19) 英語リズム学習支援を目的とした文強勢音節のモデル化と文

強勢の検出 小橋川哲, 峯松信明, 広瀬啓吉 (東大)

Donna Erickson (岐阜女子短大)

(20) アクセント句境界情報を利用したN-gram言語モデルの高精度

化 寺尾 真, 峯松信明, 広瀬啓吉 (東大)

12月21日 (金)

[9:30~11:50] ●session-5 話し言葉音声

(21) (サーベイ) 日本語話し言葉コーパスの音声認識の進捗

河原達也 (京大)

(22) 話し言葉音声認識における話者間の認識率変動要因の解析

篠崎隆宏, 古井貞照 (東工大)

(23) 発話速度に適応した音響モデルの検討

南條浩輝, 河原達也 (京大)

(24) 講演音声認識における発話速度の考慮した音声認識手法

奥田浩三, 河原達也, 中村 哲 (ATR)

(25) 音素・単語信頼度を用いた音響モデルの教師なし適応化

- 緒方 淳, 有木康雄 (龍谷大)
- (26) X-JToBI: 自発音声の韻律ラベリングスキーム
前川喜久雄, 菊池英明 (国語研)
- (27) 実走行車内音声対話データベース
河口信夫, 松原茂樹, 武田一哉, 板倉文忠, 稲垣康善 (名大)
- [13:10~14:30] ●Session-6 (招待講演) 自然言語理解の展開
(28) セマンティック・トランスコーディング: コンテンツの意味的
拡張とメディア変換 長尾 確 (日本IBM)
- [14:50~16:50] ●Session-7 情報検索・音声認識の後処理
(29) (サーベイ) 最近の情報検索関連コンテストにおけるタスク
山本幹雄 (筑波大)
- (30) 英語ニュース音声を対象とした音声自動要約
堀 智織, 古井貞照 (東工大)
- (31) フレーズブックコーパスを用いた認識誤り訂正の検討
沖本純幸, 山本博史, 隅田栄一郎, 菊井玄一郎 (ATR)
- (32) 音声文書検索を用いたオンデマンド講義システム
伊藤克亘 (産総研), 藤井 敦, 石川徹也 (情報大)
- (33) 未知語を考慮したニュース音声記事の検索
西崎博光, 中川聖一 (豊橋技科大)
- (34) 柔軟な言語モデルとマッチングを用いた音声によるレストラン
検索システム 駒谷和範, 河原達也 (京大)
清田陽司, 黒橋禎夫 (東大), Pascale Fung (HKUST)

*電子情報通信学会 (言語理解とコミュニケーション (NLC) 研究会),
電子情報通信学会・日本音響学会 (音声 (SP) 研究会) との共催,
人工知能学会 (言語・音声理解と対話処理 (SLUD) 研究会) 協賛.
*http://winnie.kuis.kyoto-u.ac.jp/sig-slp/参照.

◆第15回 コンピュータセキュリティ研究会 (発表件数:7件)

(主査:佐々木良一, 幹事:岡本栄司, 林誠一郎, 村山優子)

日 時 平成13年12月21日 (金) 13:00~16:45
会 場 情報処理学会会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20. http://www.ipsj.or.jp/
Tel (03)5484-3535]

議 題 コンピュータセキュリティ一般

- (1) 電子メール自動暗号化処理サーバの拡張について (4)
山口光平, 畑中雅彦 (室蘭工大)
- (2) 着信ポート番号のランダム化によるサーバー防衛
力武健次, 菊地高広, 永田 宏, 濱井龍明, 浅見 徹 (KDDI研)
- (3) セキュアなJavaソースコードの作成とその監査手法
児島 尚, 鳥居 悟 (富士通研)
- (4) Webサーバ防御ツールの実用性評価
三友仁史, 鳥居 悟, 小野越夫 (富士通研)
- (5) サーバーの不正を検出できるデジタルタイムスタンプ方式
山田 明, 清本晋作, 田中俊昭, 中尾康二 (KDDI研)
- (6) 契約時に添える付加的なMACに関する総合的分析
小森 旭, 松浦幹太, 須藤 修 (東大)
- (7) ネットワーク上のローカルマネージシステムの提案
秋山和隆, 並河岳史, 手塚一郎, 菊池宏徳
山根信二, 村山優子 (岩手県立大)

*本プログラムは暫定的なものです。変更される可能性もありますので、最新情報は、<http://www.sdl.hitachi.co.jp/csec/news.html>をご覧ください。

◆第43回 音楽情報科学研究会 (発表件数:7件)

(主査:小坂直敏, 幹事:片寄晴弘, 菅野由弘, 堀内靖雄)

日 時 平成13年12月22日 (土) 13:00~20:00
23日 (日) 13:00~19:00
(終了時間は予定)

*事情により、前回ののご案内から日時、会場が変更されています。ご注意ください。

会 場 慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス

[藤沢市遠藤5322.]

http://www.sfc.keio.ac.jp/visitor/sfc_access/index.html

照会先: 引地孝文 (NTT) E-mail:hikichi@brl.ntt.co.jp]

議 題

12月22日 (土)

[13:00~17:30]

- (1) 自己相関特徴量を用いた圧縮楽曲データからの構造抽出

- 奥鳴 隆, 大西建輔, 小早川倫広, 星 守, 大森 匡 (電通大)
- (2) 音声スペクトルを用いた音声クラスタリング合成法
小林良穂 (慶大)

- (3) ICA, ISMA会議報告 引地孝文 (NTT)

- (4) Coloring-in Pianoによる2ステップ打ち込みの提案

宮川洋平, 白崎隆史, 大島千佳, 西本一志 (北陸先端大)

- (5) ゴニオメータによるピアノ演奏動作分析 米津幸絵 (慶大)

- (6) 視聴覚連繋作用と気泡を用いたインタラクティブサウンドアート
松村誠一郎 (東大), 鈴木太朗 (東京芸大)

- (7) ICMC2001報告 浜中雅俊 (筑波大)

[18:00~20:00] ○インターカレッジコンピュータ音楽コンサート
12月23日 (日)

[13:00~19:00] ○インターカレッジコンピュータ音楽コンサート

*本研究会では、インターカレッジコンピュータ音楽コンサートが行われます。入場無料です。コンサート情報に関しては、以下URLをご参照ください。
<http://platinum.sfc.keio.ac.jp/intercollege/index.html>
照会先: 常盤拓司 (慶大) E-mail:tokiwa@sfc.keio.ac.jp
*最新情報については研究会Webページ <http://www.etl.go.jp/~sigmus/>をご確認ください。

*** 研究会 論文募集 ***

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名 (登壇者に○)、略称所属、概要 (50字程度)、発表申込者連絡先 (住所、氏名、Tel、Fax、E-mail) を明記の上、各研究会照会先までE-mailまたはFaxで直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は、事務局研究会担当宛 (E-mail:sig@ipsj.or.jp Fax (03)5484-3534) に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください。

◆計算機アーキテクチャ研究会

今年度もアーキテクチャとコンパイラの協調をメインテーマに、SHINING (Software and Hardware INtegration for Innovative Next Generation computing) 2002と銘打って、下記要領にて研究会を開催いたします。多数の発表をお待ち申し上げます。

日 程 平成14年2月1日 (金)

会 場 名古屋大学

議 題 特集テーマ: SHINING 2002 「アーキテクチャとコンパイラの協調および一般」

発表申込先 E-mailにてarc-kanji@m.aist.go.jpまでお申し込みください。申込フォームは下記URLから入手可能です。

<http://phase.etl.go.jp/sigarc/apply.txt>

発表申込締切 平成13年11月30日 (金)

照会先 arc-kanji@m.aist.go.jp

◆ヒューマンインタフェース研究会 (HI)

◆音声言語処理研究会 (SLP)

日 程 平成14年2月1日 (金)・2日 (土)

会 場 伊豆長岡温泉 藍染の宿 長岡ホテル

議 題 「音声を活かした新しいインタラクション」および一般

発表申込締切 平成13年11月30日 (金)

照会先 中村 哲 (ATR音声言語通信研究所)

E-mail:nakamura@slt.atr.co.jp Tel (0744)95-1370

Fax (0744)95-1308

*照会、発表申込はできるだけ <http://winnie.kuis.kyoto-u.ac.jp/sig-slp/2002-SLP-40.html> からお願いします。

*発表申込の際、どちらの研究会へのお申込か明記してください。

*詳細および宿泊情報は研究会Webページをご覧ください。

HI研究会 <http://www.ipsj.or.jp/sig/hi/>

SLP研究会 <http://winnie.kuis.kyoto-u.ac.jp/sig-slp/2002-SLP-40.html>

◆高品質インターネット研究会

日 程 平成14年2月6日 (水)・7日 (木)

会 場 KDDIホール

議 題 テーマ: CDN, IX, 計測, トラヒック工学, その他一般

発表申込締切 平成13年11月30日 (金)

照会先 E-mailにてia-board@itrc.net宛にお送りください。

*電子情報通信学会 (インターネットアーキテクチャ研究会, インターネット時限研究会, フォトニックネットワークをベースとするインターネット技術研究会) と共催 (予定)。

◆マルチメディア通信と分散処理研究会 (DPS)

◆コンピュータセキュリティ研究会 (CSEC)

日 程 平成14年2月14日 (木)・15日 (金)

会 場 静岡大学情報学部 (静岡県浜松市)

発表申込締切 平成13年11月30日 (金)

照 会 先

DPS: 藤巻貴宏 (富士ゼロックス)

E-mail:yoshihiro.fujimaki@fujixerox.co.jp Tel (045) 640-2356

*できるだけWebでの申込みをお願いします。

*Webの申込みは<http://www.ipsj.or.jp/sig/dps/>の2001年度研究会情報のページからどうぞ。

CSEC: 西垣正勝 (静岡大)

E-mail:nisigaki@cs.inf.shizuoka.ac.jp

Tel (053) 478-1467 Fax (053) 478-1499

*できるだけE-mailをお願いします。E-mailには返信しますので、返信のない場合にはご連絡ください。

◆グラフィクスとCAD研究会

本研究会では、大学、専門学校、高校などのCGやCADの教育におけるさまざまな工夫や、新しい教材の提案などの報告を期待します。なお、東京大学西田友是先生のJAVAを用いたCG教育、東京農工大学斉藤隆文先生のCG教育のあり方に関する特別講演を予定しています。ふるって、お申し込みください。

日 程 平成14年2月21日 (木)

会 場 画像情報教育振興協会

議 題 テーマ: CG/CAD教育およびCG/CAD一般

発表申込締切 平成13年11月30日 (金)

照 会 先

近藤邦雄 (埼玉大) E-mail:kondo@ke.ics.saitama-u.ac.jp

佐藤 尚 (神奈川工科大) E-mail:sato@ic.kanagawa-it.ac.jp

*会場URL:<http://www.cgarts.or.jp/>

*発表申込みは、学会Webページ<http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/happyo.html>よりお申し込みください。

*画像情報教育振興協会、日本図学会共催。

◆コンピュータと教育研究会

日 程 平成14年2月22日 (金)

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

発表申込締切 平成13年11月30日 (金)

照 会 先 澤田伸一 (成徳短大)

E-mail sawada@col.tokyoseitoku.ac.jp

Tel (03) 3908-4530 Fax (03) 3907-6195

*できるだけE-mailをお願いします。

*申込みの際、発表時の使用機器 (プロジェクタ/OHP) もお知らせください。

◆第136回ソフトウェア工学研究会

学生セッションを設け、学生による研究発表を募集いたします。

優秀な論文発表には賞を進呈します。

日 程 平成14年3月7日 (木)・8日 (金)

会 場 都内

発表申込締切 平成13年12月28日 (金)

照 会 先 海谷治彦 (信州大) E-mail: kaiya@cs.shinshu-u.ac.jp

Tel (026) 269-5469 (直通) Fax (026) 269-5495 (学科共通)

*詳細は<http://www.ipsj.or.jp/sig/se/>をご覧ください。

*できるだけE-mailをお願いします。なお、学会Webページからも申込み可能です。

◆情報システムと社会環境研究会

第79回研究会は「情報システム若手の会」として情報システムの開発、運用、活用ならびに関連した研究に携わる若手の方々 (学生、若手企業人、若手研究者、および若手教育者など) の発表と討論を予定しております。一般発表のほかにチュートリアルも予定しております。テーマは自由ですが、情報システムの開発、利用などを通じて社会・組織とシステムのかかわりが今後どうなっていくかに焦点をあてた発表を歓迎いたします。また、研究会終了後に簡単な懇親会を予定しております。

日 程 平成14年3月18日 (月)

会 場 KDDI (新百合ヶ丘)

発表申込締切 平成13年12月20日 (木)

照 会 先 椎名洋充 (日立) E-mail:shiinah@bisd.hitachi.co.jp

Tel (044) 549-4785 Fax (044) 549-4739

研究グループ論文募集

◆知的都市基盤研究グループ

日 程 平成14年1月28日 (月)

会 場 産業技術総合研究所 臨海副都心センター 第一会議室 (東京江東区青海)

議 題 テーマ: これからの都市空間における情報支援システムおよび一般

発表申込締切 平成13年11月26日 (月)

照 会 先 平松 薫 (NTTコミュニケーション科学基礎研)

E-mail:hiramatu@cslab.kecl.ntt.co.jp

Tel (0774) 93-5237 Fax (0774) 93-5245

*できるだけE-mailをお願いします。

*知的都市基盤シンポジウム (平成14年1月27日 (日) 於: 日本科学未来館) と併催。

*当日、サイバーアシスト研究センターの見学を予定。

*詳細は本研究グループのWebページをご参照ください。

<http://www.carc.aist.go.jp/icii/>

◆放送コンピューティング研究グループ

日 程 平成14年2月19日 (火)

会 場 情報処理学会 会議室 (東京都港区芝浦)

議 題 放送コンピューティング一般

発表申込締切 平成13年11月30日 (金)

照 会 先 寺田 努 (阪大) E-mail:tsutomu@cmc.osaka-u.ac.jp

申込方法 研究会発表申込方法と同じ

本会名を使用した勧誘にご注意ください

最近本会の名称を無断で使用しての各種勧誘が横行しております。相手先の判明したものについては厳重抗議いたしておりますが、会員の皆様におかれましては、十分にご注意ください。本会の各種行事等のご案内などは、すべて会告でお知らせいたしております。

なお、事務局では会員データ、会員名簿の管理・取扱いには厳正を記しております。古い会員名簿を破棄されます際には、十分にご配慮をお願いいたします。

照 会 先 情報処理学会 会員担当



「産業フォーラム/ITS (第6回)」
参加者募集

日時 平成13年11月29日(木) 13:00~17:10
会場 情報処理学会 会議室
[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F.
JR田町駅下車, 徒歩10分. <http://www.ipsj.or.jp>]

トピック 「ITSとヒューマンマシンインタフェース (HMI)」

コーディネータ: 小花貞夫 (KDDI)
チェアパーソン: 水野忠則 (静岡大), 富樫 実 (通信・放送機構)

プログラム

[13:00~14:00]
「クルマの表示操作系HMIの技術動向」 田中兼一 (日産)
[14:10~15:10]
「音声認識技術の技術動向」 清水 徹 (KDDI研)
[15:20~17:10]
パネルディスカッション 「ITSとHMI」
チェア: 水野忠則 (静岡大)
パネラ: 田中兼一 (日産), 清水 徹 (KDDI研)
小西達裕 (静岡大), 伊藤敏行 (日産)

参加費 *会員 1,500円
一般 2,500円
学生 500円 (含資料代)

*会員: 情報処理学会会員, または, 同学会ITS研究会 (準) 登録会員

参加人数 50名 (定員になり次第締切)
申込/照会先 情報処理学会 事業部門
E-mail: ayukawa@ipsj.or.jp
Webページ (http://www.ipsj.or.jp/katsudou/forum/f_its0013.htm) からお申し込みください。多くの方のご参加をお待ちいたします。



行事No.S-CH2001
人文科学とコンピュータシンポジウム
じんもんこん:-) 2001
「デジタルアーカイブー21世紀にあるべき
情報資源の共有と活用とはー」参加者募集

最近, 人類の歴史文化資産を, デジタル技術を使って保存し後世へ継承しようという「デジタルアーカイブ」が注目されています。人文科学とコンピュータ研究会では, 歴史学, 地理学, 考古学, 文学, 保存科学, 芸術・美術, 博物館学・図書館学・文書館学などの分野における資料やデータの処理を課題として扱ってきており, デジタルアーカイブは, 人文科学と情報技術の望ましい融合の形であると, 歓迎しています。

しかしながら, 現在のデジタルアーカイブでは, コンテンツの重要性については当然十分に認識されているものの, いまだ, システム指向, 産業指向の, いわゆる「箱もの」整備としての色彩が強く, 一般利用者, 資料を利用する研究者, 資料管理者などの視点, あるいは情報資源の共有という視点からの議論が欠けているように見受けられます。もちろん, デジタルアーカイブでは, さまざまな技術要素が必要となりますが, これらには, 単にデータの保存・蓄積という視点だけではなく, 人類が共有する情報の利用や活用という視点の必要なることを忘れてはなりません。また, 構築や運用では, 人文科学と情報科学の双方からのコラボレーションが求められています。

本シンポジウムでは, デジタルアーカイブ関連の情報処理システム技術を展望するとともに, 利用者としての人文系研究者や情報管理者

と, システム構築側の技術者や研究者との有意義な討論と情報交換の場を提供し, 21世紀にあるべき情報資源の共有や活用を見据えたデジタルアーカイブの姿を明らかにしたいと考えています。

日時 平成13年12月14日(金) 9:00~18:00
(懇親会18:30~20:30)
15日(土) 9:15~17:20
会場 大阪市立大学学術情報総合センター (大阪市住吉区杉本町) 参照: <http://www.osaka-cu.ac.jp/map.html>
主催 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会
後援 電子情報通信学会, 情報知識学会, 情報処理学会関西支部, デジタルアーカイブ推進協議会, アート・ドキュメンテーション研究会, 関西情報センター, 記録管理学会, 情報考古学会, 日本情報地質学会, 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会, 日本認知科学会文学と認知・コンピュータ研究会
協賛 アルテック, インフォコム, コンテンツ, 富士通, 堀内カラー
参加費 会員 (含共催後援団体会員): 8,000円
一般: 10,000円 学生: 3,000円 (いずれも論文集代含む)
論文集のみ 3,000円 (送料・消費税込)
懇親会 4,000円
企業展示 入場無料
申込方法 4月号会告欄または学会Webページの行事申込書にてお申し込みください。
参加申込締切 平成13年11月30日(金)
*当日受付も可能ですが, なるべく事前にお申し込みください。
照会先 情報処理学会 調査研究担当 (シンポジウム係)

プログラム

*一般セッションはA, B会場に分かれて並行して行われます。

12月14日(金)

- [9:00~9:10] ○実行委員長挨拶
[9:15~10:45] ●一般セッション1
・セッション1-A デジタルアーカイブの実践
(1) デジタルアーカイブの構築と商業利用実例
清水宏一 (京都デジタルアーカイブ研究センター)
(2) デジタルアーカイブにおける文化財のデータベース化ー大阪城を事例とするCG教育コンテンツー
長谷康之, 長江貞彦 (近畿大), 植野雅量 (近畿システム研)
(3) デジタルアーカイブからデジタルエキジビジョンへ
馬場 章, 吉田 成 (東大), 吉田正高 (早大)
吉仲 亮 (東大), 川瀬敏雄, 肥田 康
古谷隆彦 (堀内カラー), 津田光弘 (イパレット)
・セッション1-B 身体運動のアーカイブ (1)
(4) 動きのデジタル保存ー舞踊動作のプリミティブ化ー
中澤篤志 (JST), 中岡慎一郎, 池内克史 (東大)
(5) 周波数解析による踊り動作のデータ圧縮方法の検討
服部 清, 横山清子, 吉村ミツ (名古屋市立大)
(6) モーションキャプチャで取得した舞踊データのH-animによる標準化とその応用ークラシックバレエのモーションデータアーカイブの構築ー
曾我麻佐子, 遠藤 守, 安田孝美 (名大)
海野 敏 (東洋大), 海賀孝明 (わらび座)

- [10:55~12:25] ●一般セッション2
・セッション2-A テキストアーカイブの構築
(7) 『真報記』データベースへの道程 相田 満 (国文研)
(8) 災害の被災者の証言アーカイブ構築と災害過程の分析
田中 聡, 林 春男 (京大)
(9) 簡易型タグを利用した歴史史料の英日全文連携検索システムの設計と開発ー日本書紀, 古事記における事例ー
桶谷猪久夫 (大阪国際女子大), 才藤千津子 (Theological Union)
Delmer Brown (University of California, Berkley)
・セッション2-B 身体運動のアーカイブ (2)
(10) 舞踊Labanotationに基づく身体運動データ入力・編集・表示システムの開発
岡本賢一, 八村広三郎, 中村美奈子 (立命館大)
(11) 古典舞踊における身体運動パターンの計算機内部表現
下尾由美, 間野暢興 (明星大)
(12) 身体運動データを作成加工するためのコンピュータ内での動作

記述方法

服部元史, 北田晋一郎, 田所 諭, 高森 年 (神戸大)

[14:00~15:00] ●基調講演

(13) 歴史情報の共有化 - その現状と課題 -

横山伊徳 (東大史料編纂所)

[15:10~16:10] ●招待講演

(14) GIS Technology: Problems & Perspective With Emphasis on Sharing of Information Resources
Karen K. Kemp (University of Redlands)

[16:25~18:00] ●パネル討論会

(15) 21世紀における情報資源と共有と活用とは

パネリスト: 横山伊徳 (東大), 原正一郎 (国文研)

鈴木卓治 (歴博), 久保正敏 (民博)

コーディネータ: 田窪直規 (近畿大)

[18:30~20:30] ○懇親会 (1階レストラン「ウイステリア」)

12月15日 (土)

[9:15~10:45] ●一般セッション3

・セッション3-A メタデータの利用 (1)

(16) 近世資料アーカイブズのためのバーチャル図書館

柴山 守, 吉井良邦, 藤川和利

ベンカテッシュ・ラガワン (大阪市立大)

野中 治 (富士写真フィルム)

(17) 映画資料のデジタル・アーカイブ構築: 失われた映画作品のカタログ化を中心に

権藤千恵 (立命館大)

(18) 国文学研究支援のためのデータベース統合の試み

原正一郎, 安永尚志 (国文研)

・セッション3-B 3次元形状計測とVR (1)

(19) Great Buddha Project - 観測に基づく大規模文化遺産のデジタル保存 -

倉爪 亮 (JST)

大石岳史, 佐川立昌, 西野 恒, 池内克史 (東大)

(20) 屋外用レーザーレンジファインダーによる遺跡のリアルタイム3Dデジタル計測 - 鳥根県大社町出雲大社境内遺跡での事例 -

塚本敏夫 (元興寺文化財研)

佐藤宏介 (阪大), 石原 聡 (大社町教育委員会)

松尾充晶 (鳥根県教育庁)

松田重雄 (リーグルジャパン), 多湖真市 (守谷商会)

(21) 時空間コード化パターン投影による3次元形状計測

春田具範, 濱 裕光 (大阪市立大)

[10:55~12:25] ●一般セッション4

・セッション4-A メタデータの利用 (2)

(22) 分散環境におけるデジタルコンテンツのメタデータ管理システムに関する考察と評価

藤井大輔, 岡田至弘, 小田義久 (龍谷大)

(23) 防災視聴覚教材の意味ネットワークを用いたメタデータ化

山下未知子, 林 春男 (京大)

(24) 文章ブロックの構造化における形態素タグとXMLの活用 - 年少者日本語教育への応用にむけた小学校教科書の最小文章単位のパターン化 -

中尾桂子, 森下淳也 (神戸大)

・セッション4-B 3次元形状計測とVR (2)

(25) 考古遺跡用高精度3次元デジタルアーカイブシステム

佐藤宏介, 多井堅一郎 (阪大)

塚本敏夫, 村田忠繁, 川本耕三 (元興寺文化財研)

今井重晃, 糊田寿夫 (ミノルタ)

伴 好弘 (神戸大), 藤沢典彦 (大谷女子大)

小林謙一 (奈良国立文化財研)

難破洋三 (京都国立博物館), 古谷 毅 (東京国立博物館)

(26) 仮想古代遺跡景観モデルと遺跡データベースによるマルチユーザウォークスルー

坂田義則, 八村広三郎 (立命館大)

(27) 簡易3次元モデルの解析による石窟寺院のVR復元

正司哲朗, 村山健二, 岡田至弘, 百済康義 (龍谷大)

[14:00~15:30] ●一般セッション5

・セッション5-A 多言語情報と文字

(28) インド・アリア語古文獻の研究に最適な統合的計算機処理システム構築とその活用

逢坂雄美 (仙台電波高専)

(29) インド系文字によるWeb環境での情報の共有

永崎研宣 (東京外語大)

(30) 『大辞典』データベースをつくる

高田智和 (北大)

・セッション5-B 画像の記録と再現

(31) 歴史研究・展示用画像表示システムの機能に関する検討

鈴木卓治, 安達文夫 (歴博)

(32) 市販デジタルカメラによる資料撮影と色値推定の試み

- デジタルアーカイビングに耐える色彩画像を考える -

鈴木卓治 (歴博), 小林光夫 (電通大/歴博)

(33) Ultra Hi-Fi PCの開発: 高再現性データの高位再生

片岡 裕 (大谷大)

[15:40~17:10] ●一般セッション6

・セッション6-A アーカイブ検索

(34) 身装画像データベース作成のための画像データの評価方法

高橋晴子 (大阪樟蔭女子大)

(35) デジタルアーカイブに対する効率的な検索の提案

- 神戸大学電子図書館システムを例として -

依田 平, 大月一弘, 森下淳也, 清光英成 (神戸大)

(36) マルチメディア情報検索システム "MIRACLES"

長田茂美, 遠藤 進, 椎谷秀一

上原祐介, 増本大器 (富士通研)

・セッション6-B 地図・地域情報

(37) 災害におけるBuilt Environmentデータベースの構築と防災への活用

堀江 啓 (防災科学技術研), 田中 聡 (京大)

牧 紀男, 東田光裕 (防災科学技術研)

林 春男 (防災科学技術研/京大)

(38) WebGISによる歴史的通称地名の記録・公開システム

碓崎 薫 (九大), 碓崎賢一 (九工大), 服部英雄 (九大)

(39) エデュマッププロジェクトによる地域情報デジタルアーカイブ

碓崎賢一 (九工大), 碓崎 薫 (九大)

[17:10~17:20] ○クロージング

* 企業展示: 会場内にて、関連協力企業の展示ブースを設置し、製品説明会を実施します。

出展企業 (50音順): アルテック, インフォコム, 堀内カラー, PFU, コンテンツ, 富士通, 富士写真フィルムほか

* シンポジウムの最新情報は、

<http://www.nichibun.ac.jp/~shoji/sigch/>をご覧ください。

実行委員長: 柴山 守 (大阪市立大学)

プログラム委員長: 山田奨治 (国際日本文化研究センター)



「第43回プログラミング・シンポジウム」
参加者募集

プログラミング・シンポジウムは通常のシンポジウムとは異なり、自由な雰囲気の中で計算機の無限の可能性を開拓していく「夢のシンポジウム」を目指したものです。1960年に第1回目が開催されて以来、これまでに将来を展望したプログラミング技術などに関して、毎年活発な議論が行われ、その中から数多くの斬新なアイデアが生まれてきました。

1. 学術論文発表の場というより、多方面の人々の共通の議論の場であり、意見交換の場であると考えています (ポスター発表およびデモンストレーションなどの場所を用意し、夕食後にも、自由討論の場を用意します)。

2. 情報処理の発展のために、多数の方々が参加され、活発に発言されることを期待します。

本シンポジウムの趣旨から、「情報処理分野で多くの経験のある方、また、これに強い関心を持ち積極的に勉強されている若い方々で、特にシンポジウムにおいて有益な形で討議に参加しようという意欲のある」方々の参加を希望します。

日 時 平成14年1月9日 (水) 11:00 受付開始
13:00 開会
~11日 (金) 12:00 閉会

会 場 箱根ホテル小涌園
[神奈川県足柄下郡箱根町二の平1297. Tel (0460)2-4111]

交 通

路線バス: 小田原駅表口<箱根町行き>~小涌園前, 約40分。

箱根湯本駅<箱根町行き>~小涌園前, 約30分。

タクシー: 小田原駅表口~会場, 約30分。

箱根湯本駅~会場, 約20分。

参加費 参加費は申込書をご覧ください

申込方法 郵送, E-mail, 学会のWebページのいずれかの方法で申し込んでください。書式は本号会告の専用申込書に準じてください。

申込締切 平成13年11月22日(木)

照会/申込先 情報処理学会 事業部門

E-mail:prosym@ipsj.or.jp (受領メールを返信します)

Tel (03)5484-3535 Fax (03)5484-3534

http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sympo/43sanka.html

プログラム

【第1日 1月9日(水)】

[13:00~13:20] ガイダンス, 開会の辞

[13:20~15:20] セッション1

・コーパスの全部分文字列に対する統計量の計算: 辞書なしの情報検索に向けて 真田亜希子, 梅村恭一 (豊橋技科大)

・感性を含むメッセージ生成支援システム

砂原秀樹 (奈良先端大), 斉藤圭子, 椎崎真世 (津田塾大)

・メールにおける話題スレッドの要約への試み

—あなたはメールの話題の流れを把握できていますか?—

伊知地宏 (ラムダ数学教育研)

倉部 淳 (インタービジョン・レーザーフィッシュ)

[15:20~15:40] 休憩

[15:40~17:00] セッション2

・ポピュラー音楽のリズムセクション自動生成システムの試作

近山 隆 (東大)

・ロボカップへの挑戦 中山康二, 宮澤慎一, 竹内郁雄 (電通大)

[17:00~17:05] 表彰 (山内記念賞)

[17:05~18:00] ポスター紹介, ポスターセッション

[18:00~19:30] 夕食

[19:30~21:00] 夜のセッション

[21:00~] 自由討論

【第2日 1月10日(木)】

[9:00~10:20] セッション3

・対話型電子白板と立ち位置検出装置を用いた遠隔授業システムの設計と試作

福井賢二, 石田準, 坂東宏和, 加藤直樹, 中川正樹 (農工大)

・コンピュータ博物館のための収集物と展示計画

野瀬 隆, 西村恕彦 (農工大)

[10:20~10:40] 休憩

[10:40~12:00] セッション4

・階層的クラスタリングに基づく多次元データの可視化

大野晋哉, 鉢呂重喜, 斎藤隆文 (農工大)

・未踏プロジェクト—現在じたばた真っ最中—

和田健之介, 和田佳子, 中口孝雄

金子 勇, 石井卓良, 星 和明, 西尾泰和

[12:00~13:00] 昼食

[13:00~14:20] 招待講演

・コンピュータ・セキュリティ・インシデント—最近の傾向と対策—
白橋明弘 (ネットワンシステムズ)

[14:20~14:40] 休憩

[14:40~16:00] セッション5

・プログラム動作の類似度評価に基づく探索型デバッグ手法の拡張

植木克彦 (東大)

・プログラムアニメーションのための実行トレースの短縮

樋口直志, 寺田 実 (東大)

[16:00~16:20] 休憩

[16:20~17:40] セッション6

・RDBとODBを融合するXML-DBフレームワーク

小松 誠 (メディアフロント)

・2倍ソート列 作田 誠, 新谷 誠, 飯田弘之 (静岡大)

[17:40~18:00] 報告

・夏のプログラミング・シンポジウム

田中哲朗 (東大)

・若手の会

筧 一彦 (早大)

・GPCC

飯田弘之 (静岡大)

[18:00~19:30] 夕食

[19:30~21:00] 夜のセッション

[21:00~] 自由討論

【第3日 1月11日(金)】

[9:00~10:20] セッション7

・アプリケーションプログラムのカーネル内実行による高速化

佐藤 喬 (電通大)

・PC クラスタシステムFire Clusterにおけるジョブスケジューリング機構の設計 小堀康之, 兵頭和樹, 中山泰一 (電通大)

[10:20~10:40] 休憩

[10:40~12:00] セッション8

・量子コンピュータの命令セットアーキテクチャの一提案とそのシミュレータの構想 中條拓伯, 古屋良二郎 (農工大)

大音真由美, 城 和貴 (奈良女子大)

・SIMD型拡張命令をもっと使った最適化への道のり

藤波順久 (ソニー), 阿部正佳 (東大)

[12:00~12:10] 閉会の辞

ポスター発表【第1日~第3日】

・部分評価を応用した動的Webページのキャッシュ機構

竹辺靖昭 (コグニティブリサーチラボ)

・未踏テキスト用シソーラスの自動構築システムの開発

梅村恭司, 山本英子, 武田善行

舟宝貴志, 鈴木健二, 真田亜希子 (豊橋技科大)

・楽曲分析システムDAPHNEを用いた楽曲創造

國弘竜徳, 高田 聖, 水谷哲也 (筑波大)

・Computation Scrapbooks of Emacs Lisp Runtime State

Richard Pottier 萩谷昌己 (東大)

*参加申込後やむを得ず参加を取り消される場合は平成13年12月7日(金)までに連絡をお願いします。取り消しの連絡のない場合は、準備の都合上、参加費を徴収させていただきます。事情による代理の参加は認めません。

*発表者の方も参加申し込みが必要です。

*会場、宿泊施設の都合で、お申し込みに応じかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

*開催期間中の中途での出入りや、人員の交替はご遠慮ください。

*プログラムは、次号の会告に掲載いたします。

*参加費には予稿集代、宿泊費、食費、消費税を含みます。宿泊なしの参加は認めません。



行事No.S-FI2002

「2002年情報学シンポジウム」参加者募集

“情報社会のセマンティクス”

—XMLとSemantic Web, 電子政府への展望,
ロボットとの共生—

本シンポジウムは、ネットワーク化社会における情報の円滑な流通と高度な利用の促進を目的に、1984年以来毎年開催してまいりました。例年、研究・開発者と利用者が交流し、情報・知識の利用に関するアイデアや知見を交換する場として、多くの方々に参加いただいております。本年度も、以下の要領で開催いたしますので、奮ってご参加ください。

日 程 平成14年1月17日(木)・18日(金)

会 場 日本学術会議講堂 (東京都港区)

*参加申込みの方には詳細を後日送付。

共同主催 日本学術会議 (情報学研究連絡委員会, 情報工学研究連絡委員会), 情報処理学会, 人工知能学会, 日本医学会, 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会, 日本物理学会, 情報知識学会, 日本生物物理学会, 日本ソフトウェア科学会

後援 (予定) 科学技術振興事業団, 化学情報協会, 計測自動制御学会, 国立情報学研究所, 情報科学技術協会, 情報通信学会, 電子情報通信学会, 日本医療情報学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本原子力学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本社会情報学会, 日本生化学会, 日本電信電話, 日本動物学会, 日本図書館情報学会, 日本農学会, 日本分子生物学会, 日本分析化学会, 日本薬学会

運営組織 情報処理学会情報学基礎研究会を母体とするシンポジ

ウム実行委員会
参加費 (論文集代として)
共催学協会員：10,000円，学生：2,500円，一般：15,000円
* 共催団体の会員の方はお申込みの際に団体名および会員番号を明記してください。
* 当日出席できない方のために論文集 (郵送) の申込も受け付けています。
申込方法 4月号会告欄または学会Webページの行事申込書にてお申し込みください。
申込締切 平成14年1月4日 (金)
* 当日受付も歓迎します (資料不足の際は事前登録者を優先します)。

申込/照会先 情報処理学会 調査研究担当 (シンポジウム係)
※最新情報は情報処理学会情報学基礎研究会のWebページをご覧ください。 (<http://research.nii.ac.jp/sigfi/#symposium>)

プログラム (概要)

◆基調講演

- ・ グラウンディングのための社会情報インフラ
橋田浩一 (産総研)
水越 伸 (東大)
- ・ (タイトル未定)

◆招待講演

- ・ データベースの観点からみたXMLの研究
吉川正俊 (奈良先端大)
- ・ XMLスキーマ言語RelaxNG 村田 真 (日本IBM/国際大)
- ・ 電子政府の実現に向けた政策的課題 岡田仁志 (情報学研)
- ・ 電子政府の発展に向けて 中上昇一 (日立)
- ・ 電子特許庁を目指して 垣本和則 (特許庁)
- ・ デジタルコンテンツの個人化とインタフェースロボット
長尾 確 (日本IBM)
- ・ ロボットデザイン 実世界インタフェースとしてのロボットの存在 松井龍哉 (北野共生システムプロジェクト)
- ・ Webマイニング 山西健司 (NEC)

* 一般講演を含むプログラム詳細は、次号 (12月号) 本欄に掲載します。
* 講演内容に関しては変更になる場合がありますのでご了承ください。



第64回全国大会 追加特別トラック講演募集のご案内

先月号に、第64回全国大会講演募集の案内を掲載させていただきその中で3件の特別トラックのご案内をさせていただきましたが、今回さらに4番目の特別トラックとしてもう1件追加することになりました。つきましては追加になりました特別トラック4の講演募集内容をご案内させていただきますので、どうぞ奮ってお申し込みください。

お申し込みは、大会Webページからが便利ですのでぜひご利用ください。

なお、会告にある申込書 (42巻10号) でお申し込みされる場合には講演申込種別に「特別トラック4 (A) もしくは (B)」を必ず明記してください。

特別トラック4: IT時代のCG・VR・CVフュージョン技術

趣 旨:

コンピュータグラフィックス (CG) 技術はここ10年で急速な進歩を見せた。レンダリングエンジン・高機能フレームバッファ等を含むグラフィックスワークステーションはもとより、家庭用ゲーム機などでもハードウェア技術の革新的な技術には目を見張るものがある。しかし、多くの国産プロダクトにみられるように、ソフトウェアひいては利用技術はハードウェアの急速な進歩に追いついていない。

そこで本特別セッションではCGを中心とした画像の利用法・利用環境・利用技術などをテーマとして取り上げる。すなわち、CGと、CGを取り巻く各技術、すなわち仮想現実 (VR)、ビジョン (CV) はもとより、インターネット、ヒューマンインタフェース、ソフトウェ

ア技術などの融合を模索し、CGの新たな可能性を探ることを目的とする。

そのための斬新なアイデアを集積するため、完成された研究ばかりでなくむしろ萌芽的な研究の発掘のため未完成・荒削りの発表を歓迎する。そして一般セッションの他、卒業研究・修士研究の成果を気軽に発表できるセッションを設けるので振るって発表申し込みをされたい。

照会先 岡田 稔 中部大学工学部情報工学科
E-mail: okada@cs.chubu.ac.jp / okada@okada-lab.org
Tel (0568) 51-1111
<http://www.okada-lab.org/>
〒487-8501 春日井市松本町1200

講演時間:

- 特別トラック4 (A) 一般セッション: 25分
- 特別トラック4 (B) 学生セッション: 15分 (高専・学部・修士課程まで)

論文ページ数:

- 特別トラック4 (A) 4~6ページ
- 特別トラック4 (B) 1~2ページ

募集キーワード:

S4 IT時代のCG・VR・CVフュージョン技術

1 モデリング

- 01 高精度モデリング, 02 ラージスケールモデリング, 03 詳細度 (LOD) 制御, 04 インタラクティブモデリング, 05 自然物モデリング, 06 自由形状デザイン, 07 モーフィング, 08 3次元形状測定, 09 幾何アルゴリズム/計算幾何学

2 レンダリング

- 01 自然物レンダリング, 02 写実的レンダリング, 03 非写実的レンダリング, 04 ビジュアライゼーション, 05 テクスチャマッピング, 06 高速レンダリング

3 ハードウェア

- 01 CGハードウェア・GWS, 02 レンダリングエンジン

4 CGとCVの融合

- 01 コンピュータビジョン, 02 イメージベースモデリング, 03 イメージベースレンダリング, 04 画像処理, 05 ビデオ映像処理

5 ネットワークCG

- 01 インターネット対応CG, 02 分散処理/並列処理, 03 電子透かし, 04 グラフィックス言語, 05 マルチメディア通信

6 アニメーション, 映像ゲーム制作

- 01 コンピュータアニメーション, 02 モーションコントロール, 03 モーションキャプチャ/モーションデータベース, 04 人物生成, 05 セルアニメーションの高度化と省力化, 06 ゲーム技術

7 バーチャルリアリティ

- 01 VRハードウェア・デバイス, 02 VRソフトウェア技術, 03 Web3D

8 ヒューマンインタフェース

- 01 インタクション手法/リアルタイムインタクション, 02 入力装置, 03 出力装置/表示装置, 04 VRシステム

General Chair

Tak Kamae (LIST)

Technical Program Chair

Ryohei Nakatsu (ATR)

Technical Program Subcommittee Chair

Computers & Games

Jaap van den Herik (University of Maastricht)

herik@cs.unimaas.nl

Home/Arcade Games and Interactive Movies

Kazuhiko Nishi (ASCII Corp.)

Junichi Hoshino (Univ. of Tsukuba/JST)

jhoshino@esys.tsukuba.ac.jp

Entertainment Robots & Physical Systems

Hitoshi Matsubara (Future Univ. of Hakodate)

matsubar@fun.ac.jp

Music Informatics

Masahiko Tsukamoto (Osaka Univ.)

tuka@ise.eng.osaka-u.ac.jp

Sociology and Psychology of Entertainment

Ryohei Nakatsu (ATR)

nakatsu@atr.co.jp

Demo and Contest Co-chairs

Hitoshi Matsubara (Future Univ. of Hakodate)

matsubar@fun.ac.jp

Hiro Iida (Shizuoka University)

iida@cs.inf.shizuoka.ac.jp

Steering Committee

Donald Marinelli (CMU, Ent. Tech.Center)

Demetri Terzopoulos (NYU)

Marc Cavazza (University of Teesside)

Bruce Blumberg (MIT Media laboratory)

Finance Chair

Takaya Ishida (Mitsubishi Electric)

Local Arrangement

tbd (Sharp Corp.)

Secretariat

Osamu Ayukawa (IPSJ)

Specific questions regarding the technical program should be directed to the program chair:

Ryohei Nakatsu

Advanced Telecommunications Research Institute International (ATR)

2-2-2, Hikaridai, Seika-cho, Soraku-gun

Kyoto, 619-0288 Japan

tel:+81 774-95-1490

nakatsu@atr.co.jp

IWEC2002 CALL FOR PAPERS

First International Workshop on Entertainment Computing(IWEC)

May 14 ~ 17, 2002 SHARP Conference Hall, Makuhari, JAPAN

Sponsored by IFIP, Organized by IPSJ

<http://www.graphic.esys.tsukuba.ac.jp/iwec2002/>

Entertainment has been taking very important parts in our life by refreshing us and activating our creativity. Recently by the advancement of computers and networks new types of entertainment have been emerging such as video games, entertainment robots, and network games. As these new games have a strong power to change our lives, it is good time for people who work in this area to discuss various aspects of entertainment and to promote entertainment related researches. IWEC will bring together researchers, developers, and practitioners working in the area of entertainment computing. It will cover wide range of entertainment computing such as theoretical issues, hardware/software issues, systems, human interfaces, and applications.

Workshop Topics

- 1. Computers & Games:** computer game algorithms; modeling of players; web technologies for networked games; human interface technologies for game applications
- 2. Home/Arcade Games and Interactive Movies:** interactive storytelling; simulating characters, people, and environment; motion capture; real-time graphics and clusters; gestures and multi-modal interaction; 3D sensing; large display and haptics; image-based modeling
- 3. Entertainment Robots & Physical Systems:** entertainment robot systems; toy robots, pet robots; entertainment robots for man-machine interfacing; physical games and mental games
- 4. Music Informatics:** MIDI and its extensions; acoustic computation; computer music for home entertainment; new music instruments; sound and voice for entertainment
- 5. Sociology and Psychology of Entertainment:** modeling and representation of emotion; mind model for entertainment; psychological aspect of immersion; future of entertainment; social significance of entertainment

Submissions

Papers: Submission of papers addressing any of the conference topics is solicited. Intending authors should submit an extended abstract of 2 – 4 pages by the deadline date for submission: **December 15, 2001**. Full papers are also welcome. Authors are requested to submit papers in PDF format via e-mail to one of the technical subcommittee chairs depending on the topic of the paper and send a copy to the following address to make the paper submission secure: iwec-paper@ipsj.or.jp

Demos & Contests: Proposals of demonstrations and contests are solicited. Entries should consist of live demonstrations of computer games, interactive entertainment systems, and robots. Also proposals of contest of new games and robots are welcomed. Submit a proposal for review by the deadline date for submission: January 15, 2002.

Exhibitions: Exhibits are invited from interested commercial organizations. Exhibits of computer games, arcade games, interactive systems, robots and toys are welcomed. Details of the exhibitions will be announced later.

Important Date

Extended Abstract submission due:	December 15, 2001
Demo and contest proposal due:	January 15, 2002
Notification of Acceptance:	January 31, 2002
Camera-ready papers due:	March 15, 2002

Intelligent Information Processing

IIP-2002

August 25-30, 2002, Montreal, Canada
Part of the IFIP World Computer Congress

Focus

**Knowledge-Based System
Architecture**
**Intelligent Information
Management**

The "International Conference on Intelligent Information Processing" is the bi-yearly flagship event of the Technical Committee "Artificial Intelligence" of IFIP. The meeting is a forum for international scientific exchange, promotion of interdisciplinary work and presentation of leading-edge applications in selected areas of intelligent information processing. This year's conference, IIP-2002, held in conjunction with the IFIP World Computer Congress 2002, will focus themes of eminent importance where AI methods contribute innovative solutions and enable successful applications.

Keynotes and Invited Surveys

Hans Akkermans
Richard Benjamins
B. Chandrasekaran
James Hendler
Nick Jennings
Wolfgang Nejdl
Wolfgang Wahlster

IIP-2002 offers the unique opportunity to obtain in-depth information about important topics through the combined perspectives of several disciplines.

"Autonomous Agents - Control and Security"
Nick Jennings, UK - NN - NN

"Innovative Software Architecting with and for Intelligent Information Systems"
Richard Benjamins, Spain - NN

"Semantic Web"
James Hendler, USA - NN

"Personalized Web Interaction"
Wolfgang Wahlster, Germany - NN

"Web-based Learning"
Wolfgang Nejdl, Germany - NN - NN

Submissions

Research papers
Application papers

Deadline:
January 28, 2002

Research papers with previously unpublished work and **application papers** describing real-life applications are solicited for all topics pertaining to Knowledge-Based System Architecture and Intelligent Information Management, including

- knowledge-based design methodologies
- knowledge acquisition
- use of ontologies
- heterogeneous knowledge bases
- enterprise modelling
- component reuse
- generic problem-solving methods

- web-based information services
- corporate knowledge management
- data-mining
- web semantics
- multimedia data indexing
- adaptive information presentation
- web-based learning

Program Committee

Conference Chair:
Bernd Neumann, Germany

Program Co-Chairs:
Mark Musen, USA
Rudi Studer, Germany

Hans Akkermans, The Netherlands
Richard Benjamins, Spain
B. Chandrasekaran, USA
Paul Compton, Australia
Monica Crubezy, USA
John Debenham, Australia
Yves Demazeau, France
Rose Dieng-Kuntz, France
Henrik Eriksson, Sweden
Boi Faltings, Switzerland
Adam Farquhar, USA
Dieter Fensel, The Netherlands
John Gennari, USA
Yolanda Gil, USA
Asun Gomez-Perez, Spain

Nicola Guarino, Italy
Lynda Hardmann, The Netherlands
Masahiro Hori, Japan
Werner Horn, Austria
Ian Horrocks, UK
Nik Kasabov, New Zealand
Larry Kerschberg, USA
Wolfgang Klas, Austria
Deborah McGuinness, USA
Robert Meersman, Belgium
Tim Mertzies, Canada
Riichiro Mizoguchi, Japan
Enrico Motta, UK
Pavol Navrat, Slovenia
Wolfgang Nejdl, Germany

Erich Neuhold, Germany
Natalya Fridman Noy, USA
Dan O'Leary, USA
Enric Plaza, Spain
Alun Preece, UK
Ulrich Reimer, Switzerland
M. Sasikumar, India
Guus Schreiber, The Netherlands
Ana Garcia Serrano, Spain
Nigel Shadbolt, UK
Yuval Shahar, Israel
Stuart C. Shapiro, USA
Derek Sleeman, UK
Steffen Staab, Germany
Gerd Stumme, Germany
Samson Tu, USA

<http://www.informatik.uni-hamburg.de/IIP-2002>



情報処理学会論文誌
「次世代移動通信ネットワークとその応用」
特集号への論文投稿のご案内

論文誌編集委員会

近年、携帯電話を代表とする移動型の情報機器の普及はめざましいものがあり、すでに第3世代の携帯電話サービスも開発され、提供されつつあります。このように次世代移動通信技術の開発に伴い、携帯電話と車載コンピュータとの連携によるさまざまなITS (Intelligent Transport System) 関連製品が開発されています。さらに位置情報を始めとして情報発信・取得などのアプリケーションの開発も盛んになっており、新たなライフスタイルを創りつつあります。

そこで情報処理学会論文誌において、下記の要領で『次世代移動通信ネットワークとその応用』をテーマに特集号を企画しております。奮ってご投稿くださいますようお願いいたします。

以下に対象分野を示しますが、モバイルコンピューティング、ワイヤレス通信およびITSに関連する論文であれば、これに限りません。

- ・通信方式 (無線通信, 衛星通信, 光通信, 移動体通信, 測距技術等)
- ・ネットワーク技術 (モバイル, ITS, アドホックネットワーク等)
- ・モバイルアプリケーション, モバイルエージェント, 位置情報システム
- ・アプリケーション (ナビゲーションシステム, 自動料金収受等)
- ・インターモーダリティ (実時間接続ダイヤ調整等)
- ・モバイル計算機環境, ユービキタス計算機環境, ウェアラブル計算機環境
- ・ユーザインタフェース, 携帯端末, セキュリティ, オペレーティングシステム
- ・交通管理 (商用車両運行システム, 交通需要管理, 車両管理, 車群管理等)
- ・運転支援 (車両制御, 運転補助システム, 車群走行, 自律走行システム等)
- ・画像処理 (車線認識, 障害物検知, 渋滞検知, 運転手状態認識等)

なお、本特集号はモバイルコンピューティングとワイヤレス通信研究会主査の高橋 修氏をゲストエディタに迎えます。

投 稿 要 領

論文の執筆要領 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内によります。

本学会Webサイト (<http://www.ipsj.or.jp>) をご参照ください。

査読手続き 通常の論文誌投稿論文と同一です。

投稿締切 2002年2月28日 (木)

投稿論文には「次世代移動通信ネットワークとその応用」と朱書きしてください。

査読完了予定 2002年8月末



情報処理学会論文誌
「インタラクション技術の革新と実用化」
特集号への論文投稿のご案内

論文誌編集委員会

情報処理学会の論文誌において、下記の要領で「インタラクション技術の革新と実用化」をテーマに特集号を企画しております。計算機を応用・利用したインタラクション技術に関連する研究開発全般についての論文・テクニカルノートを広く募集いたしますので奮ってご投稿ください。「インタラクション」等のシンポジウムで発表された論文も投稿可能です。また、軽いアイデアの実装など、フルペーパーになりにくいものは「テクニカルノート」制度を積極的にご利用ください。本特集号はインタラクション2001, 2002プログラム委員長の水垂浩幸氏をゲストエディタとして企画・編集を行います。

対象分野

- ・インタラクティブシステム (理論, デザイン, 構成, 評価技法等)
- ・インタラクティブメディア (デザイン, アート等)
- ・インタラクションの要素技術 (マルチモーダル, 言語, 感性情報, グラフィクス, アニメーション, エージェント, バリアフリー等)
- ・インタラクティブなハードウェア (ウェアラブルコンピュータ, モバイルコンピュータ, ロボット, 入出力デバイス等)
- ・マルチユーザインタラクション (組織知, コミュニティコンピューティング等)
- ・インタラクティブシステムの応用 (教育, 福祉, エンタテインメント, 創造性, 電子商取引, ヘルプデスク等)
- ・その他インタラクションに関するものであれば広く一般

投 稿 要 領

論文の執筆要領 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内によります。論文投稿規定は本学会Webサイト <http://www.ipsj.or.jp/> に掲載されています。

査読手続き 通常の論文誌投稿論文と同一ですが、特集号編集期限の関係上、著者への照会期間は通常 (3カ月) より短縮されますので投稿に際しあらかじめご了承ください。

投稿締切 2002年4月12日 (金)

投稿論文には「インタラクション技術の革新と実用化」特集と朱書きしてください。

特集号予定 2002年12月号

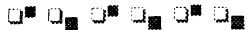
●ACM・IEEE・IEEE-CSの会費割引特典について●

各学協会との協定により、本会会員の会費が割引になります。会員の皆様におかれましては大いに特典を活用していただき、学術・技術の向上にお役立てください。なお、入会申込等詳細につきましては各事務局に直接お問い合わせください。

1. ACM (Association for Computing Machinery) <http://www.acm.org>
正会員 (Voting Member) 会費を20%ディスカウント
2. IEEE (The Institute of Electrical and Electronic Engineers, Inc.) <http://www.ieee.org>
IEEE-CS (IEEE Computer Society) <http://computer.org>
Full Member (IEEEおよびIEEE+IEEE-CSの会員) の会費を10%ディスカウント

照会/入会申込先

- ・ACM日本支部
〒107-0062 東京都港区南青山5-10-5 九曜ビル903
Tel(03)5466-1761 Fax(03)5466-1762 E-mail:acm-j@iisf.or.jp
- ・IEEE東京支部
〒105-0003 東京都港区西新橋3-6-2 ツカサビル6F
Tel(03)5776-7670 Fax(03)5776-7671 E-mail:sec.tokyo@ieee.org
- ・IEEE-CS アジア・パシフィック・オフィス
〒107-0062 東京都港区南青山1-4-2 南青山渡辺ビル6F
Tel(03)3408-3118 Fax(03)3408-3553 E-mail:tokyo.ofc@computer.org



支部だより

情報処理学会支部連絡先

北海道支部：北海道大学工学部情報科学系内

〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目

E-mail:hokkaido@ipsj.or.jp Tel/Fax (011) 776-3077

東北支部：東北大学大学院情報科学研究科内

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉05

E-mail:t2@ecei.tohoku.ac.jp Tel (022) 217-7148 Fax (022) 263-9414

東海支部：(株)NTTデータ東海支社内

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NITTDATA伏見ビル

E-mail:t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel (052) 204-4517 Fax (052) 204-4521

北陸支部：北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科内

〒923-1292 石川県能美郡辰口町旭台1-1

E-mail:murakosi@jaist.ac.jp Tel (0761) 51-1262

Fax (0761) 51-1360

関西支部：(財)関西情報センター内

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F

E-mail:infor-soci@kaiis.or.jp Tel (06) 6346-2543 Fax (06) 6346-2443

中国支部：広島大学大学院工学研究科内

〒739-8527 広島県東広島市鏡山1-4-1

E-mail:nakano@eml.hiroshima-u.ac.jp Tel (0824) 24-7663

Fax (0824) 22-7195

四国支部：徳島大学工学部知能情報工学科内

〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2-1

E-mail:fuketa@is.tokushima-u.ac.jp Tel (088) 656-7564

Fax (088) 656-7604

九州支部：(財)九州システム情報技術研究所企画部内

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル7F

E-mail:yoshimi@isit.or.jp Tel (092) 852-3460

Fax (092) 852-3465

*各支部の最新情報は<http://www.ipsj.or.jp/>からリンクしています。

北陸支部 研究講演会「メディア情報処理とソフトウェアセッティング」開催案内

日時 平成13年12月14日(金) 16:10~17:40
会場 金沢大学工学部秀峯会館(金沢市小立野2-40-20)
講師 宮永喜一(北大)
参加費 無料(参加資格不問)
照会先 堀田英輔(金沢大)

E-mail:horita@is.t.kanazawa-u.ac.jp Tel (076) 234-4840

北陸支部事務局(*前期「支部連絡先」参照)

東海支部 「講演会」開催案内

日時 平成13年12月14日(金) 14:00~16:00
会場 名古屋大学情報文化学部情報メディアセンター・サテライトラボ(*地図:<http://www.nagoya-u.ac.jp/>)
講師 岡本敏雄(電通大)
演題 e-Learningテクノロジーの現状と課題
照会先 安田孝美(名大)

E-mail:yasuda@info.human.nagoya-u.ac.jp Tel (052) 789-4855



会員の皆様へのお知らせ・お願い

●Web会誌購読・メールフォワードサービスのご利用について

会員特典として、2000年4月よりサービスを開始してまゝWeb会誌購読、今年度は登録料無料となっておりますが、まだご利用いただい

ていない方が大勢おられます。多くの皆様方のご利用をお待ちいたしております。また、手続きが簡単、便利なメールフォワードも会員の方のみのサービスですのであわせてご利用ください。

Web会誌購読：創刊号から最新号までの閲覧

<http://www.ipsj.or.jp/library/wwwservicefree.html>

メールフォワードサービス：メールを転送。登録翌日から利用可能。

アドレスはxxxxx@fw.ipsj.or.jp

登録：<http://www.ipsj.or.jp/members/Entry.html>

●メールアドレスの登録について

来年度より会告の廃止(<http://www.ipsj.or.jp/katsudou/mag/topic/denshika.html>)が予定されております。会員の皆様への最新情報のご提供はwebサイトでご案内することになりますが、メールのご案内も今後増加の傾向にあると思われまゝ。まだ、登録がお済みでない方がおられましたら早急に手続きをお願いします。ご理解とご協力をより一層お願いします。

●機関誌等の送付先変更について

送付先住所に変更が生じた場合には、早急にwebサイトの「変更連絡届」(<http://www.ipsj.or.jp/kaiin/henkou.html>)もしくは書面にて照会先へご連絡ください(E-mail, Fax可)。毎月20日締切で、翌月号から変更します。

また、住所不明等の理由から連絡がとれず会費が滞納となり、除名に至る場合もありますので、機関誌が届かないなどご不明な点がございましたら早めにお問い合わせください。

●退会について

退会を希望される方は、退会届(会員番号・氏名・退会年月・退会希望の旨とその理由を明記したもの)を書面等にて下記、照会先までご連絡ください(E-mail, Fax可)。退会連絡受理後、会費および論文誌購読費未納の方には、別途退会精算の振込用紙を送付いたしますので、送付先住所等に変更がある場合には併記してください。

●平成13年度会費、論文誌購読費および研究会登録費の納入について

本年度の会費・論文誌購読費および研究会登録費未納の方へ、11月中に納付書(払込取扱書)を送付する予定です。

お近くに未納の方や納入金額などが不明という方がいらっしゃいましたら、下記照会先までお問い合わせくださいますようお願いいたします。ご協力をお願いいたします。

照会先 情報処理学会 会員担当

寄贈図書一覧

(01-73) (株)プリリアント・スタッフ、水田 巴(著)、“Oracle8i Workgroup Server 導入編”，390p, (株)ソフト・リサーチ・センター, (2001-9)：3,700円+税

(01-74) (株)プリリアント・スタッフ(株)、永村弘道、水田 巴(著)“Oracle8i for Windows NT/2000 アプリケーション開発編”，513p, (株)ソフト・リサーチ・センター, (2001-9)：3,800円+税

(01-75) 田中 博(著)，“電子カルテとIT医療”，(株)エム・イー振興協会, (2001-3)：2,500円+税

(01-76) David Flanagan(著)，豊福 剛(訳)，首藤一幸(監修)，“Java プログラムクイックリファレンス 第2版”，677p (株)オライリー・ジャパン, (2001-9)：4,800円+税

(01-77) Erik T.Ray(著)，山本和彦，中原晃司，梶浦正規，豊田公児(訳)，“入門XML” 365p, (株)オライリー・ジャパン, (2001-9)：3,400円+税

(01-78) Richard Monson-Haefel, David A.Chappell(著)今野 陸(監訳)，古澤秀明(訳)，“Javaメッセージサービス” 246p, (株)オライリー・ジャパン, (2001-10)：2,800円+税

(01-79) George Reese(著)，石井史子(監訳)，(有)福龍興業(訳)，“JDBCによるJavaデータベースプログラミング 第2版”，371p, (株)オライリー・ジャパン, (2001-9)：3,800円+税

(01-80) Steven Feuerstein, Bill Pribyl(著)，原 陽一(監訳)，木脇高太郎，寺田美穂子(訳)，“Oracle PL/SQL プログラミング基礎編 第2版”，624p, (株)オライリー・ジャパン, (2001-9)：5,800円+税

(01-81) Steven Feuerstein, Bill Pribyl(著)，原 陽一(監訳)，木脇高太郎，寺田美穂子(訳)，“Oracle PL/SQL プログラミング応用編 第2版”，424p, (株)オライリー・ジャパン, (2001-9)：4,500円+税

書籍

学会発売書籍リスト

[学会発行]

学会創立40周年記念展示会「情報技術のエポック展」CD-ROM	¥3,000
IT革命最前線 (創立40周年記念出版)	¥1,200 (会員¥1,080)
21世紀：豊かな情報化社会の実現を願って - 教育の視点から-	¥2,620 (会員¥2,360)
情報処理学会倫理綱領	¥1,560 (会員¥1,560)

[シンポジウム]

1994年	
★DAシンポジウム	¥3,000
★変革期のソフトウェア工学シンポジウム	¥3,000
★グラフィクスとCADシンポジウム94	¥3,000
★グループウェア94シンポジウム	¥3,000
★利用者の情報システムシンポジウム94	¥3,000
★アドバンスド・データベースシステム・シンポジウム94	¥3,000
1995年	
★1995情報シンポジウム	¥8,000
★情報メディアシンポジウム (情報・生命・人間)	¥3,000
★1995並列処理シンポジウム	¥5,000
★オブジェクト指向95シンポジウム	¥5,000
★サマーワークショップイン立山	¥3,000
★マルチメディア通信と分散処理ワークショップ95	¥3,000
★コンピュータシステムシンポジウム95	¥5,000
★情報メディアシンポジウム95	¥5,000
★企業活動の電子化の最新動向チュートリアル	¥4,000
★アドバンスド・データベースシステム・シンポジウム95	¥9,000
★グループウェア95シンポジウム	¥5,000
1996年	
1996年情報学	¥8,000
★情報処理教育と数理系カリキュラムシンポジウム	¥5,000
★次世代ポータブルメディアの新展開と標準化シンポジウム	¥5,000
DAシンポジウム96	¥5,000
ソフトウェア開発のためのドメイン分析モデリング技術	¥5,000
★マルチメディア通信と分散処理ワークショップ96	¥5,000
コンピュータシステム・シンポジウム96	¥5,000
グループウェア96シンポジウム	¥5,000
★産業構造の転換と情報処理教育シンポジウム	¥5,000
★問題発見とモデル化-現場の実例-シンポジウム	¥4,000
アドバンスド・データベースシステム・シンポジウム96	¥9,000
1997年	
1997年情報学	¥8,000
★インタラクション97	¥5,000
分散システム運用技術シンポジウム97	¥5,000
1997年並列処理シンポジウム	¥5,000
マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO97) シンポジウム	¥10,000
DAシンポジウム97	¥5,000
ハイパフォーマンスコンピューティング・シンポジウム	¥1,000
モバイルコンピューティング97シンポジウム	¥3,000
コンピュータシステム・シンポジウム	¥5,000
情報メディアシンポジウム97	¥5,000
アドバンスド・データベース・シンポジウム'97	¥12,000
1998年	
★1998年情報学	¥10,000
利用者指向の情報システム	¥5,000
デジタル・ドキュメント	¥3,000
分散システム運用技術シンポジウム98	¥5,000
★インタラクション98	¥5,000
アルゴリズム特許の現状とその問題点シンポジウム	¥4,000
マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO98) シンポジウム	¥10,000
DAシンポジウム98	¥5,000
MIRU'98	¥5,000
情報メディアシンポジウム98	¥5,000
★コンピュータ・セキュリティシンポジウム98	¥6,000
モバイルコンピューティング98シンポジウム	¥3,000
★マルチメディア通信と分散処理ワークショップ98	¥4,000
コンピュータシステム・シンポジウム98	¥5,000
グループウェア98シンポジウム	¥5,000
アドバンスド・データベース・シンポジウム98	¥12,000
MPEG-4.7&JPEG2000	¥10,000
1999年	
1999年情報学	¥10,000

ソフトウェア工学インター・ワークショップ・イン・高知	¥5,000
2001年の情報システム	¥5,000
分散システム/インターネット運用技術	¥5,000
システムLSIシンポジウム	¥1,000
マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO99) シンポジウム	¥10,000
DAシンポジウム	¥5,000
★情報教育シンポジウム99	¥5,000
モバイルコンピューティング99シンポジウム	¥3,000
人文科学とコンピュータシンポジウム99	¥3,000
コンピュータシステム・シンポジウム99	¥5,000
次世代デジタルTVシンポジウム	¥2,000
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ99	¥5,000
情報メディアシンポジウム99	¥5,000
2000年	
2000年情報学	¥10,000
★情報システムと社会環境シンポジウム2000	¥3,000
インタラクション2000	¥8,000
数理モデル化と問題解決シンポジウム	¥5,000
2000年記念並列処理シンポジウムSPP2000	¥5,000
★マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO 2000) シンポジウム	¥10,000
DAシンポジウム2000	¥5,000
情報教育シンポジウム2000	¥5,000
オブジェクト指向2000シンポジウム	¥5,000
★モバイルコンピューティングとワイヤレス通信シンポジウム2000	¥3,000
コンピュータ・セキュリティシンポジウム2000	¥6,000
コンピュータシステム・シンポジウム2000	¥5,000
DBWeb2000	¥12,000
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ2000	¥4,000
新しい計算パラダイムシンポジウム	¥4,000
人文科学とコンピュータシンポジウム2000	3,000
2001年	
高度交通システム (ITS) シンポジウム2001	¥5,000
2001年情報学シンポジウム	¥10,000
情報システムと社会環境シンポジウム2001	¥3,000
分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2001	¥5,000
インタラクション2001	¥8,000
並列処理シンポジウムJSPP2001	¥5,000
マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO 2001) シンポジウム	¥10,000
DAシンポジウム2001	¥5,000
情報教育シンポジウム2001	¥5,000
オブジェクト指向2001シンポジウム	¥5,000
オーディオビジュアル複合情報処理シンポジウム2001	¥5,000
[全国大会]	
第42回全国大会論文集セット (平成3年前期)	¥33,600
第43回全国大会論文集セット (平成3年後期)	¥33,600
第44回全国大会論文集セット (平成4年前期)	¥33,600
第46回全国大会論文集セット (平成5年前期)	¥33,600
第49回全国大会論文集セット (平成6年後期)	¥33,600
第50回全国大会論文集セット (平成7年前期)	¥33,600
第53回全国大会論文集セット (平成8年後期：CD-ROM付)	¥33,600
第57回全国大会論文集セット (平成10年後期：CD-ROM付)	¥33,600
第58回全国大会論文集セット (平成11年前期：CD-ROM付)	¥33,600
第59回全国大会論文集セット (平成11年後期：CD-ROM付)	¥33,600
第61回全国大会論文集セット (平成12年後期：CD-ROM付)	¥33,600
第62回全国大会論文集セット (平成13年前期：CD-ROM付)	¥33,600
第63回全国大会論文集セット (平成13年後期：CD-ROM付)	¥33,600
第53回全国大会CD-ROM (平成8年後期)	¥12,600
第54回全国大会CD-ROM (平成9年前期)	¥12,600
第55回全国大会CD-ROM (平成9年後期)	¥12,600
第56回全国大会CD-ROM (平成10年前期)	¥12,600
第57回全国大会CD-ROM (平成10年後期)	¥12,600
第58回全国大会CD-ROM (平成11年前期)	¥12,600
第59回全国大会CD-ROM (平成11年後期)	¥12,600
第60回全国大会CD-ROM (平成12年前期)	¥12,600
第61回全国大会CD-ROM (平成12年後期)	¥12,600
第62回全国大会CD-ROM (平成13年前期)	¥12,600
第63回全国大会CD-ROM (平成13年後期)	¥12,600
第59回全国大会特別トラックCD-ROM (平成11年後期)	¥4,200
第62回全国大会特別トラックCD-ROM (平成13年前期)	¥4,200

- 判別の難易度に基づく類似箇所検出の高速化
加納政芳 (名工大), 加藤昇平 (豊田工業高専), 伊藤英則 (名工大)
 - 分散視覚エージェントを用いた複数人物追跡システム
中澤篤志 (東大), 日浦慎作 (阪大)
加藤博一 (広島市立大), 井口征士 (阪大)
 - データ駆動型処理と概念駆動型処理の相互作用による文書画像レイアウト解析
石谷康人 (東芝)
 - ニューラルネットワークの2段階構成による手書き漢字認識
梅田三千雄, 横田 宏 (大阪電通大)
 - パターンの類似性判断に関する変換群構造説
天野 要, 岡野 大, 緒方秀教, 芝田安裕 (愛媛大)
小西敏雄 (松山東雲女子大), 福士殆士 (文科省)
濱田治良 (徳島大), 今井四郎 (国際医療福祉大)
 - 正方形粒子の最密充填手法を用いた石畳テクスチャの生成
宮田一乗 (東京工芸大), 伊藤貴之 (日本IBM)
嶋田憲司 (カーネギーメロン大)
 - Javaバイトコード変換による構造リフレクションの実現
千葉 滋 (東工大), 立堀道昭 (筑波大)
 - 自動搬送ラインの設計支援のための準具象物流シミュレータ
高橋圭一, 鈴木幸司, 佐賀聡人, 前田純治 (室蘭工大)
 - 移動エージェントによるQoS保証機能
橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県立大), 白鳥則郎 (東北大)
 - 携帯端末用メッセージングシステムにおける分断時操作の同期機能の拡張
齋藤正史, 吉田玲子 (三菱)
 - 追記が付される文書の電子化とその長期的保存のための一考察
藤川真樹, 八巻睦子, 中村雅一 (総合警備保障)
-
- 情報処理学会論文誌: Vol.42No.SIG11 (PRO12)
- オブジェクト指向並列言語OPAのためのコード生成手法
八杉昌宏 (京大/科技园), 馬谷誠二 (京大), 鎌田十三朗 (神戸大)
田畑悠介, 伊藤智一, 小宮常康, 湯浅太一 (京大)
 - Java2Cトランスレータにおける例外処理の実現
千葉雄司 (日立)
 - Javaと相互呼び出し可能なScheme処理系「ぶぶ」における継続機能と例外処理機能の実装
鶴川始陽, 湯浅太一, 小宮常康, 八杉昌宏 (京大)
-
- 末尾再帰の最適化と一級継続を実現する為のJVMの機能拡張
山本晃成 (数理システム), 湯浅 太一 (京大)
 - 時相線形論理型言語のコンパイラ処理系のための抽象機械について
番原睦則 (奈良高専), 姜 京順 (釜山外国語大), 田村直之 (神戸大)
 - インタフェースボードを使用するソフトウェアのためのビジュアルプログラミングシステム
岡田栄治, 山口真悟, 田中 稔 (山口大)
 - 学校教育用オブジェクト指向言語「ドリトル」の設計と実装
兼宗 進 (筑波大), 御手洗理英 (筑波大/アーマット)
中谷多哉子 (Sラグーン) 福井眞吾, 久野 靖 (筑波大)
-
- 情報処理学会論文誌: Vol.42No.SIG12 (HPS4)
- 低レンテンシ1対1結合マルチポート・インターリーブ・キャッシュの評価
嶋田 創, 安藤秀樹, 島田俊夫 (名大)
 - 値予測を利用した分岐予測機構
片山清和 (名大), 戸田 聡 (メルコ), 中村幸司 (沖電気)
布施裕基 (NEC), 安藤秀樹, 島田俊夫 (名大)
 - SCIMAにおける性能最適化手法の検討
近藤正章, 中村 宏 (東大), 朴 泰祐 (筑波大)
 - 高速球面調和関数変換法の誤差の解析と制御
須田礼仁 (名大), 高見雅保 (クボタ)
 - 自動チューニング機構が並列数値計算ライブラリに及ぼす効果
片桐孝洋 (日本学術振興会/東大), 黒田久泰 (東大)
大澤 清 (信陽ビジネスサービス), 工藤 誠, 金田康正 (東大)
 - OpenMP向けコンパイラ支援ソフトウェアDSMにおける最適化コンパイル手法
佐藤茂久 (日立), 佐藤三久 (筑波大)
 - プロセスネットワークを宣言的に記述する並列言語
大野和彦, 山本繁弘, 岡野孝典, 中島 浩 (豊橋技科大)
 - バルク回帰並列処理: 依存のあるループの並列実行方式
川端英之, 谷口宏美, 津田孝夫 (広島市立大)
 - Linux PCクラスタを用いた並列粒子シミュレーション
蔡 東生, 安室秀則, 李 堯亭, 陸 全明, 肖 池階 (筑波大)
 - 並列分散計算システム上でのBMI固有値問題解法
合田憲人 (東工大), 二方克昌 (日本IBM), 原 辰次 (東工大)

◆各種問合せ先 (社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
 Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	項目
総務	somu@ipsj.or.jp	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
会員	mem@ipsj.or.jp	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証
経理	keiri@ipsj.or.jp	出納
システム企画	sys@ipsj.or.jp	システム企画, 電子化専門委員会
調査研究	sig@ipsj.or.jp	研究会登録, 研究発表会, シンポジウム
事業	jigyo@ipsj.or.jp	全国大会, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム
国際	intl@ipsj.or.jp	国際会議, IFIP委員会
図書	tosho@ipsj.or.jp	出版物購入
会誌	editj@ipsj.or.jp	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可
論文誌	editt@ipsj.or.jp	情報処理学会論文誌, 出版
規格部 (情報規格調査会)	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

有料会告について

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集、参加案内など）の会告欄掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。なお、会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

記

1. 掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税別）	
論文募集、 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ 講演会、講習会などの論文募集・参加者募集 に限る。	1ページ、	(主催・共催)	
		1/2ページまたは	1ページまで 無 料	
		1/4ページ	2回目以降	
			1ページ 50,000円	
			1/2ページ 30,000円	
			1/4ページ 20,000円	
			(協賛)	
			1ページ 100,000円	
			1/2ページ 50,000円	
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10行程度	(国公立教育機関、国公立研究機関)	
				20,000円
			(賛助会員（企業）)	30,000円
			(賛助会員以外の企業)	50,000円

2. 申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

3. 原稿の書き方

●行事次第書：原則としてA4判カメラレディとします。

(1ページ) 天地260mm × 左右170mm

(1/2ページ) 天地130mm × 左右170mm

(1/4ページ) 天地 65mm × 左右170mm

* A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお、原稿作成にあたり様式（字の大きさ、ゴシックなど）については、本会会告記載内容をご参照願います。

また、フロッピーディスクまたはE-mailでも受け付けますので、ご相談ください。

●人材募集：次の項目を明記し、E-mailまたはFax、郵送にてお送りください。

*なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]

4. 申込期限

毎月15日を締切日とし、翌月号（15日発行）に掲載します。

5. 掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3カ月以内にお支払いください。

6. 掲載申込先

(社) 情報処理学会 会誌担当 (有料会告係)

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel (03) 5484-3535 Fax (03) 5484-3534

7. 本誌への広告掲載申込/照会先

(株) 精機通信社

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-16-13 E-mail:sei@ss-com.co.jp Tel (03) 3367-0571 Fax (03) 3368-1519

「第43回プログラミング・シンポジウム」参加申込書

●会員番号（情報処理学会会員の方は、必ずご記入ください）

(A) 会員No. _____

●参加区分（記号で選択のこと）

* 社会人学生の方は一般料金を適用させていただきます。

	会員	非会員
一般（3名1室）	(1-A) 43,000	(1-a) 48,000
一般（2名1室）	(1-B) 48,000	(1-b) 53,000
一般（1名1室）	(1-C) 67,000	(1-c) 72,000
学生（4名1室）	(1-D) 27,000	(1-d) 32,000
登壇発表学生（4名1室）	(1-E) 15,000	_____
報告集のみ購入	(1-F) 5,250	(1-f) 5,250

(B) 第1希望 _____
 第2希望 _____
 第3希望 _____

●送金、支払い方法（記号で選択のこと）

(2-a) 当日持参

(2-b) 現金書留で送金

(2-c) 郵便振替 (00150-4-83484)

(2-d) 銀行振込（第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945）

(2-e) 銀行振込（東京三菱銀行虎ノ門公務部 0000608）

名義人：社団法人 情報処理学会（いずれも普通預金）

(C) 記号 _____

(D) 送金／振込日 _____

●請求書類の必要な方はお申し出ください。

(E) 請求書 _____ 通

(F) 見積書 _____ 通

(G) 納品書 _____ 通

(H) 請求書宛名 _____

●次の各項目は部屋割の資料として使います。

性別 (3-a) 男 (3-b) 女

宿泊室 (4-a) 喫煙室希望 (4-b) 禁煙室希望

(2名1室の場合)

早寝などの希望があればご記入ください。

(I) 年齢 _____ 歳

(J) 性別記号 _____

(K) 宿泊記号 _____

(L) _____ 氏と同室希望

(M) _____

●次の各項目はシンポジウム運営の参考にします。

夜の自由討論の希望テーマ

デモンストラーション希望

(N) _____

(P) _____

●申込先（下記までE-mail、郵送またはFaxで送付のこと）

社団法人 情報処理学会 事業部門

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

E-mail: prosym@ipsj.or.jp Tel (03) 5484-3535 Fax (03) 5484-3534

* E-mailでのお申し込みは各項目に付したアルファベットで入力してください。

(例：B:第1希望-1-b, B:第2希望-1-a, D:9月18日...)

* また、下記の住所・氏名記入欄は宛名ラベルとして使用できるように体裁で入力してください。

申込者連絡先

住所 〒 _____

機関・部課名 _____

フリガナ
氏名 _____ E-mail: _____

Tel () - (ext.) Fax () -

情報処理学会「書籍」申込書
(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

申込者					
会員/非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
会員No.			ご氏名		
勤務先			ご所属		
ご住所	〒				
TEL			Fax		
E-mail					

送本先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
照会先/送本先

「購入希望書籍」リスト			
書籍名	希望部数 (冊)	単価 (円)	金額 (円)

支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *				
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *				
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *				
	(4) 現金持参				
	(5) 現金書留				
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日が分かる場合、記入のこと				
送金名義人					
請求書	通	見積書	通	納品書	通
請求書記載名義					
送金に関する照会先					

<p>申込先 (社) 情報処理学会 図書担当</p> <p>〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F</p> <p>E-mail: tosho@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534</p> <p>http://www.ipsj.or.jp/tosho.htmlからもお申し込みいただけます。</p> <p>*E-mailでお申込みの場合は、上記様式に準じてください。</p>
--

人材募集

(有料会告)



申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。
申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。
掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 20,000円（+税）
賛助会員（企業） 30,000円（〃）
賛助会員以外の企業 50,000円（〃）
申込先：情報処理学会 会誌部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 5484-3534

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■湘南工科大学工学部機械工学科

募集人員 助教授または講師 1名
専門分野 コンピュータ応用
担当科目 コンピュータの機械応用科目（コンピュータグラフィクス、CAD、CAEなど）、数学（工学基礎科目、教職科目）
応募資格 博士の学位を有し、私立大学における研究・教育に熱意があり、将来的に大学院博士課程の指導ができる方。年齢は30～40歳代。
着任時期 平成14年4月1日（予定）
提出書類 履歴書、研究業績リスト（著書、論文、国際会議論文などに分類）、主要論文別刷（5編程度）、今後の研究計画書および教育に対する抱負、推薦書1通または本人の業績などをよく知っている方2名の氏名と連絡先
応募締切 平成13年12月5日
送付先 〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25 湘南工科大学事務局 庶務課長 「機械工学科教員応募書類」と朱書き書留
照会先 庶務課長 内藤 宏 E-mail:naito@center.shonan-it.ac.jp Tel (0466)30-0250 Fax (0466)35-2055
または工学部 機械工学科長 北原時雄 E-mail:kawahara@mech.shonan-it.ac.jp Tel (0466)30-0159 Fax (0466)34-9527

■静岡理科大学理工学部情報システム学科

募集人員 講師または助教授 1名
専門分野 情報工学分野
応募資格 関連する専門分野の博士の学位を有する（着任時までに取得見込み含む）方か、またはそれと同等以上の学識を有する方。ネットワーク系のソフトウェア関連の講義ができ、大学院修士課程の研究指導ができる方で、教育および研究に熱意を持つ方。計算理論の科目も担当できる方が望ましい
着任時期 平成14年4月1日
提出書類 履歴書、研究業績リスト（論文は査読の有無で分類すること）、主要論文別刷（5編以内、コピー可）、学会などでの活動概要、教育実績、着任後の教育に対する抱負（A4用紙2枚程度）
応募締切 平成13年12月7日（必着）
送付先 〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2 静岡理科大学事務局総務課 「情報システム学科・教員応募書類在中」と朱書き書留
照会先 理工学部長 矢田 浩 E-mail:yadahrs@me.sist.ac.jp Tel (0538)45-0111 Fax (0538)45-0110
その他 待遇：本学規定による

■高エネルギー加速器研究機構共通研究施設計算科学センター

募集人員 助教授 1名（任期なし）
研究内容 計算科学センターにおける計算機・ネットワークシステムやソフトウェアの研究開発に取り組むとともに、機構の国際的な研究活動に適合したネットワークセキュリティについて必要な措置を統一的に企画し、その運用を統括する
着任時期 平成14年4月1日
提出書類 履歴書、研究歴、着任後の抱負、発表論文リスト、主要論文別刷（5編以内）、本人に関する推薦書または参考意見書
詳細は <http://info-pub.kek.jp/jinji/> 参照のこと
応募締切 平成13年12月10日
送付先 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1 高エネルギー加速器研究機構長 菅原寛孝 「教官公募関係」と朱書き書留
照会先 共通研究施設 計算科学センター長 渡瀬芳行 Tel (0298)64-5472 Fax (0298)64-4402 <http://www.kek.jp>
その他 応募に際しては事前に必ず連絡すること

■筑波技術短期大学視覚障害関連学部情報処理学科

募集人員 教授または助教 1名
専門分野 情報処理全般
担当科目 情報リテラシ科目ー情報基礎I/II, プログラミング言語II, 同演習
経営データ処理概論, 同演習
応募資格 年齢55歳前後以下で, 博士の学位, もしくは同等の能力を有する, 情報リテラシ科目のカリキュラム開発と教育に意欲のある, 視覚障害者への高等教育と職業自立に関して意欲的に取り組める方. コンピュータネットワーク応用などの関連実務経験があることが望ましい
着任時期 平成13年度のできるだけ早い時期, または平成14年4月1日
提出書類 履歴書 (指定書式あり), 主要業績目録など (指定書式あり), 全業績リスト, 主要論文別刷, 推薦書, 視覚障害者の高等教育および研究などに関する抱負 (2000字以内)
応募締切 平成13年12月10日
送付先 〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-3-15 筑波技術短期大学庶務課人事係 Tel (0298)58-9308/9309 Fax (0298)58-9312
照会先 〒305-0821 茨城県つくば市春日4-12-7 筑波技術短期大学視覚障害関連学部情報処理学科 主任 夏目 武
E-mail:natsume@cs.k.tsukuba-tech.ac.jp Tel (0298)58-9570 Fax (0298)58-9579 http://www.tsukuba-tech.ac.jp
その他 本学視覚障害関連学部は3年制の国立短期大学で学生は全員視覚に障害を持っています. 情報処理学科には「情報システム」と「経営情報」の2つのコースがあります. 視覚に障害を持つ学生への専門教育と教育手法, 社会人としての人材育成および職域開拓に意欲を持つ方の応募を期待しています. 特に視覚障害補償技術分野の研究開発などに関心と意欲のある方を希望します

■島根大学総合理工学部数理・情報システム学科

募集人員 教授および助教 各1名
専門分野 計算機工学/計算機科学. 特にオペレーティングシステム, コンパイラ, ヒューマンコンピュータ・インタラクション, 画像工学, 計算機ハードウェアの各分野を優先します
担当科目 原則として専門分野に近い情報系の講義・演習
応募資格 博士の学位を有し, 教育研究に熱意のある方. 国籍, 性別, 宗教を問わない
着任時期 平成14年4月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類 履歴書, 研究業績 (業務経歴を含む), 主要な論文または報告書の別刷 (5編以内. コピー可), 今後の教育・研究に対する抱負, 参考意見をいただける方の氏名と連絡先
応募締切 平成13年12月14日 (必着)
送付先 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学 総合理工学部長 宅和暁男
「数理・情報システム学科教官応募書類在中」と朱書き書留
照会先 数理・情報システム学科 田中章司郎 E-mail:tanaka@cis.shimane-u.ac.jp Tel/Fax (0852)32-6518
http://www.cis.shimane-u.ac.jp
その他 選考にあたっては書類審査後, 面接を実施することがあります. 選考結果は応募者ご本人に通知します

■武蔵工業大学工学部電子情報工学科

募集人員 1) 助教または講師または助手 1名 2) 教授または助教 1名
専門分野 1) アーキテクチャ, 計算機ハードウェアなどの計算機工学 2) ソフトウェア工学などのソフトウェア関連の計算機工学
応募資格 1) 博士の学位を有し, 35歳くらいまでの方 2) 博士の学位を有する方
着任時期 平成14年4月1日以降なるべく早い時期
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷 (コピー可), 今後の研究・教育に対する抱負 (1000字程度)
応募締切 平成13年12月15日
送付先/照会先 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 武蔵工業大学工学部電子情報工学科 主任教授 藤川英司
E-mail:hideji@cs.musashi-tech.ac.jp Tel (03)3703-3111

■相模女子大学短期大学部

募集人員 助教 1名, 専任講師 1名
専門分野 情報科学, 情報工学 (DTP, 社会情報系も含む)
担当科目 映像メディア, DTP, 電子メディア, アニメーション, システム科学など
応募資格 大学院修士課程修了以上, あるいはこれと同等の能力を有し, 演習も担当できる方. 着任時45歳以下が望ましい
着任時期 平成14年3月1日
提出書類 履歴書 (任意), 研究業績リスト (著書, 論文, 特許など. 様式任意), 主要論文別刷 (5編. コピー可), 女子の情報教育に関する抱負 (1000字程度)
応募締切 平成13年12月17日 (消印有効)
送付先 〒228-8533 神奈川県相模原市文京2-1-1 相模女子大学庶務課気付 相模女子大学短期大学部 学長 中村以正
「短期大学部専任教員応募書類」と朱書き
照会先 庶務課 Tel (042)742-1411 (代表)

■群馬大学工学部情報工学科

募集人員 助教授 1名
専門分野 ソフトウェア工学, オペレーティングシステム, 並列分散システム, 計算機アーキテクチャ, 情報セキュリティ, または, その他の情報工学の主要分野
応募資格 博士の学位を有し, 教育・研究に情熱のある方
着任時期 平成13年度中, または14年度のなるべく早い時期
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, A4用紙1枚にまとめた業績の概要
応募締切 平成13年12月20日
送付先/照会先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 群馬大学工学部情報工学科 学科長 五十嵐善英
E-mail:igarashi@comp.cs.gunma-u.ac.jp Tel(0277)30-1829 Fax(0277)30-1801

■豊田工業大学大学院工学研究科

募集人員 助手 1名
所属 大学院工学研究科博士後期課程 情報援用工学専攻 設計工学(CAD)研究室
専門分野 設計工学情報応用分野:設計対象/設計プロセスモデリング, 知識集約CADなど
応募資格 博士号取得者あるいは着任時までに博士号取得者
着任時期 決定後できるだけ早い時期
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(5編程度. コピー可), これまでの研究の要約と着任後の研究についての抱負(2000字以内), 推薦者2名の氏名, 所属, 連絡先
応募締切 平成13年12月20日
送付先 〒468-8511 愛知県名古屋市長区久方2-12-1 豊田工業大学総務部 副部長 石垣喜之 Tel(052)809-1712 Fax(052)809-1734
照会先 教授 東 正毅 E-mail:higashi@toyota-ti.ac.jp Tel(052)809-1786
その他 任期:5年 「豊田工業大学における任期付き教育職員に関する規定」による
(同規定の内容はhttp://www.toyota-ti.ac.jp/Jinji/tti_rule_.htmlを参照)

■福岡工業大学情報工学部管理情報工学科

募集人員 教授または助教授 1名
専門分野 情報工学または関連分野で, 情報通信ネットワークの管理運営に詳しい方
担当科目 管理情報工学基礎(科目名:情報処理Ⅰ, 情報処理Ⅱ, マルチメディア情報通信)
応募資格 専門分野のうち特に学科目に関連ある課題についての研究業績のある方, 博士の学位を有し, 教育経験のある, 大学院を担当可能な方
着任時期 平成14年4月1日
提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動など), 研究業績リスト(著・訳書, 論文, 総説, 学会発表などに分類して, 著者名をすべて記述すること. また, 査読付き論文とその他の論文を区別すること), 主要論文別刷(5編程度), 教育研究に対する抱負
応募締切 平成13年12月20日
送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 伊東敏明
Tel(092)606-3131(ext.2242) Fax(092)606-8923 「管理情報工学科教員応募書類在中」と朱書
照会先 管理情報工学科 学科長 赤木文男 E-mail:akagi@fit.ac.jp Tel(092)606-5874 Fax(092)608-5300

■福岡工業大学情報工学部情報工学科

募集人員 助教授または講師 1名
専門分野 情報工学関連で特に計算機ソフトウェア工学
担当科目 プログラミング言語, 情報ネットワーク・演習, 計算機アーキテクチャなど
応募資格 博士の学位を有し, 教育経験のある, 大学院を担当可能な40歳以下の方
着任時期 平成14年4月1日
提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 賞罰, 学会および社会における活動など), 研究業績リスト(著書, 訳書, 論文, 総説, 学会発表などに分類して, 共著者名をすべて記入すること. また, 査読付き論文とその他の論文を区別すること), 論文別刷, 教育研究に対する抱負
応募締切 平成13年12月20日(必着)
送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 伊東敏明 「情報工学科教員応募書類在中」と朱書
照会先 情報工学科 学科長 松尾一壽 E-mail:ka-matuo@fit.ac.jp Tel(092)606-4880 Fax(092)606-1342

■北見工業大学情報システム工学科

募集人員 助手 1名
所 属 知能情報工学講座
専門分野 光情報処理
担当科目 情報システム工学実験および演習
応募資格 研究に積極的で学生の指導に熱意ある健康な方。光学素子を用いた実験で学生の指導を行える方。年齢は30歳前後で、博士の学位を有する（取得見込み含む）方が望ましい
着任時期 平成14年4月1日
提出書類 履歴書、研究業績リスト、著書および論文別刷（コピー可）、現在までの研究経過と着任後の教育・研究計画（1500字以内）、推薦書（2通以内）
応募締切 平成13年12月21日（必着）
送付先 〒090-8507 北海道北見市公園町165 北見工業大学 情報システム工学科助手選考委員会 委員長 亀丸俊一
E-mail:kamemaru@cs.kitami-it.ac.jp Tel (0157)26-9345 Fax (0157)26-9344 「応募書類」と朱書き書留
その他 選考方法：書類選考後必要に応じて面接

■徳島文理大学工学部情報システム工学科

募集人員 教授、助教授または専任講師 1名
専門分野 情報通信ネットワーク、計算機アーキテクチャまたは計算機ソフトウェアに関する分野
応募資格 博士の学位を有し、学部および大学院博士前期・後期課程において授業を担当し、研究指導ができる50歳までの方
着任時期 平成14年4月1日（予定）
提出書類 履歴書（形式自由）、業績リスト、主要論文別刷（コピー可）
応募締切 平成13年12月21日（必着）
送付先/照会先 〒769-2193 香川県大川郡志度町志度1314-1 徳島文理大学工学部情報システム工学科 学科長 三野正幸
E-mail:mino@is.bunri-u.ac.jp Tel (087)894-5111 Fax (087)894-4201

■富山商船高等専門学校情報工学科

募集人員 教授または助教授 1名
専門分野 計算機システムおよびその応用分野：特に通信システム（情報通信ネットワーク、情報セキュリティ、マルチメディア通信など）
応募資格 ものづくり教育など高専の教育に意欲があり、かつ学生指導に熱意を持ち、博士の学位を有し採用日において満40～50歳程度であり、日本国籍を有する方
着任時期 平成14年4月1日
提出書類 自筆履歴書（市販用紙）、著書・論文など一覽（所定様式あり）、主要な著書・論文などの概要（主なもの5点、所定様式あり）および別刷（コピー可）、高専の教育・研究に携わる抱負（A4用紙に、1000字程度・様式自由）、推薦書または応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先 *所定様式については、庶務課人事係へ問合せください。
応募締切 平成13年12月21日（必着）
送付先 〒933-0293 富山県新湊市海老江練合1-2 富山商船高等専門学校庶務課人事係 Tel (0766)86-5113
「情報工学科教官応募」と朱書き書留
照会先 情報工学科主任 教授 宮林穎夫 E-mail:miya@toyama-cmt.ac.jp Tel (0766)86-5277 Fax (0766)86-5110
その他 書類審査合格者には面接があります

■旭川工業高等専門学校電気工学科

募集人員 助手 1名
専門分野 電気電子工学、情報工学の各分野
担当科目 近い将来に、電力システム工学、電気機器などを担当
応募資格 博士の学位を有する（取得見込み含む）方。高等専門学校での教育研究、学生指導に熱意のある方。年齢は30歳以下。
着任時期 平成14年4月1日
提出書類 履歴書、業績リスト、主要論文別刷（コピー可）、着任後の抱負、推薦書（学位取得見込みに関する内容を含む）
応募締切 平成13年12月28日
送付先 〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2-1-6 旭川工業高等専門学校庶務課人事係 Tel (0166)55-8105 Fax (0166)55-8082
「電気工学科教官応募書類」と朱書き書留
照会先 電気工学科 鏡 慎 E-mail:kagami@asahikawa-nct.ac.jp Tel (0166)55-8015

■会津大学コンピュータ理工学部コンピュータソフトウェア学科

募集人員 教授 1名(参照番号 CS01004)
所属 画像処理学講座
専門分野 コンピュータまたは関連分野で博士の学位を有し、学部および大学院で画像処理、パターン認識、コンピュータビジョンの分野において教育、研究指導が可能な方。産学連携活動に強い関心を持ち、英語により教育、研究指導が可能な方
担当科目 画像処理学、アルゴリズムとデータ構造、プログラミング(C、C++またはJava)
着任時期 平成14年4月1日
提出書類 応募参照番号を明記した表書き、詳細な履歴書、推薦者3名の氏名・職名・連絡先の住所、過去5年以内の出版または出版予定の学術誌掲載論文のうち主要なもの3編(学術誌掲載の論文の方が望ましい)
応募締切 平成13年12月31日
送付先 〒965-8580 福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字上居合90 会津大学人事担当 Tel(0242)37-2500
E-mail:position@u-aizu.ac.jpでの応募も可能
照会先 コンピュータソフトウェア学科情報システム学講座 教授 神田英貞 Tel(0242)37-2520

■富山大学工学部知能情報工学科

募集人員 助教または講師 1名
所属 メディア情報工学講座
専門分野 情報通信分野(符号化、情報セキュリティ、通信方式など)およびその関連分野
応募資格 博士の学位を有し、大学院の指導ができる、上記専門分野での研究業績がある方
着任時期 平成14年4月1日が望ましい
提出書類 履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動など)、研究業績リスト(査読のある学会論文誌や学術雑誌に掲載または掲載決定済の論文、国際会議での発表または発表決定済の論文、その他の論文、著書、特許などに分類し、著者名を記載すること)、主要論文別刷(5編程度、コピー可)、これまでの研究の概要、今後の研究計画ならびに教育に対する抱負(A4用紙1枚程度)、可能であれば推薦書
応募締切 平成13年12月31日
送付先/照会先 〒930-8555 富山県富山市五福3190 富山大学工学部知能情報工学科 学科長 中嶋芳雄
E-mail:nakajima@iis.toyama-u.ac.jp Tel(076)445-6747 「教官応募書類(情報通信)」と朱書き書留

■東京工業高等専門学校情報工学科

募集人員 教授 1名
専門分野 人工知能・認知科学、ソフトウェア科学・工学、データベース・メディア処理・インタフェースなど
応募資格 博士の学位を有し(着任時までに取得見込み含む)、教育・学生指導に熱意のある方。採用時に年齢が40歳半ばの方が望ましい。着任後、情報処理プログラミング関連の授業・演習・工学実験を担当していただきます
着任時期 平成14年4月1日
提出書類 自筆履歴書、着任後の教育・研究についての抱負、教育研究業績リスト(教育活動、研究論文、著書、学会活動など)、主要論文別刷(3編、コピー可)、推薦書(自薦の場合は問合せ可能な人を明記してください)
応募締切 平成14年1月7日(必着)
送付先 〒193-0997 東京都八王子市栢田町1220-2 東京工業高等専門学校庶務課人事係 「情報工学科教員応募書類」と朱書き書留
*応募書類は原則として返却しません
照会先 情報工学科 学科主任 市村 洋 E-mail:ichimura@tokyo-ct.ac.jp Tel(0426)68-5196 http://www.tokyo-ct.ac.jp

■東邦大学理学部情報科学科

募集人員 教授または助教 4名
専門分野 マルチメディア、ネットワーク、DB、ヒューマンインタフェース、ソフトウェア工学、情報科学としての形式論理
応募資格 博士の学位を有し、大学院の教育研究も担当できる方。着任時50歳以下が望ましい
着任時期 平成14年4月以降なるべく早い時期
提出書類 履歴書、研究業績リスト(主要論文5編の別刷を添付)、教育研究の抱負(1000字程度)
応募締切 平成14年1月7日(必着)
送付先/照会先 〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 東邦大学理学部情報科学科 牧野武則
E-mail:makino@is.sci.toho-u.ac.jp Tel/Fax(047)472-8660

■茨城大学工学部システム工学科

募集人員 助手 1名
所 属 計算機応用学講座
専門分野 知能ロボット、適応学習システム、生物的適応システム、マルチエージェント、VR・ヒューマンインタフェース、ヒューマンダイナミクスなどの運動と知能を融合する知能ロボットシステム分野
応募資格 平成14年4月1日現在の年齢が28歳以下で博士の学位を有するか、または着任後数年以内に確実に取得できる方
着任時期 平成14年4月1日
提出書類 履歴書、修士または博士の学位取得（取得見込み）証明書、研究業績書（著書、学術論文、国際会議論文のリストとそのコピーを含む）、今後の教育・研究に対する抱負（A4用紙1枚程度）
応募締切 平成14年1月31日（必着）
送 付 先 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1 茨城大学工学部システム工学科 学科長 浜松芳夫
Tel (0294)38-5195 Fax (0294)38-5229
照 会 先 システム工学科 教授 堤 泰行 E-mail: tsutsumi@hcs.ibaraki.ac.jp Tel (0294)38-5254 Fax (0294)38-5229

■松江工業高等専門学校情報工学科

募集人員 教授、または助教授 1名
専門分野 情報工学
応募資格 博士の学位を有し、高専での教育・研究に強い意欲があり、学生指導に理解のある方
着任時期 平成14年4月1日
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文3編、教育・研究に対する抱負（1000字程度）、推薦書2通（自薦も可）
応募締切 平成14年1月31日（必着）
送 付 先 〒690-8518 鳥根県松江市西生馬町14-4 松江工業高等専門学校庶務課人事係 Tel (0852)36-5112
「情報工学科教官応募書類在中」と朱書き書留
照 会 先 情報工学科 飯塚育生 E-mail: iizuka@it.matsue-ct.ac.jp Tel (0852)36-5245
そ の 他 選考方法：書類選考および面接（模擬授業を含む）